

平成 30 年度
瑞浪市教育委員会
点検評価報告書
(平成 29 年度事業)

平成 30 年 10 月
瑞浪市教育委員会

目 次



1	点検評価の概要	1
	はじめに	1
	点検評価の区分	1
2	教育委員会の活動状況	2
3	平成 29 年度各課等の方針と重点	6
4	平成 30 年度（平成 29 年度事業） 評価一覧	10
5	各課の事業評価	12
	教育総務課	12
	学校統合推進室	16
	学校教育課	20
	学校給食センター	32
	社会教育課	35
	スポーツ文化課（文化振興）	46
	〃（スポーツ振興）	61
6	教育委員会点検評価委員会のまとめ	65

1 点検評価の概要

【はじめに】

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことが規定されました。

瑞浪市教育委員会では、「瑞浪市教育振興基本計画（以下「みずなみ教育プラン」という）」に掲げる基本理念実現のために、毎年その方針と重点に基づき各事業を展開しております。

この報告書は、瑞浪市教育委員会が平成 29 年度の各事業について点検評価を行い、瑞浪市教育委員会点検評価委員会の意見を付して報告するものです。

【参考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【点検評価の区分】

点検評価は、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す 4 区分により達成度の評価を行いました。

- A・・・順調に達成している
- B・・・おおむね順調に達成している
- C・・・達成見込みであるが課題がある
- D・・・順調でない

2 教育委員会の活動状況

平成 29 年度の教育委員会は、定例会を 12 回、臨時会を 2 回開催し、議案 51 件について厳正な審議を行いました。

定例会、臨時会後に開催される委員会協議会では、委員からの情報提供や事務局による事業の進捗報告などのほか、さまざまな課題について協議を行い、そこで出された意見を施策立案や実施に反映させました。特に今日的な課題である教員の働き方改革や ICT 教育に関する取組みについては、複数回にわたり協議を重ね、2 月 19 日の総合教育会議においては市長と意見交流を行いました。

また、教育現場の状況把握のため、一年を通して小中学校の研究発表会や運動会・体育大会などの参観や教育委員会指導訪問への同行を行ったほか、成人式(1 月 7 日)などの社会教育関連行事に出席するなど、様々な活動を行いました。

11 月 9 日に実施した教育功労者表彰式では、瑞浪市教育委員会表彰規則に基づき、教育・学術及び文化の振興発展に貢献のあった教育関係職員 1 人、児童・生徒 9 人、部活動 2 団体、学校 1 校、一般 5 人を表彰しました。

東濃西部教育委員研修協議会(7 月 19 日、土岐市)や市町村教育委員会連合会研究総会(11 月 10 日、飛騨市)では、他市の教育施設の視察や事例研究、意見交流を行い、教育委員としての資質の向上を図りました。

なお、教育委員会で審議された案件は次ページのとおりで、慎重審議の結果、提案された案件は、全て可決又は承認されました。

【教育委員会名簿】

平成 30 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	任期満了日	備 考
教育長	ひらばやし 平 林 みちひろ 道博	平成 31 年 9 月 30 日	
委 員	やまだ 山田 ゆきお 幸男	平成 31 年 9 月 30 日	教育長職務代理者
委 員	しばた 柴田 ようこ 洋子	平成 32 年 9 月 30 日	
委 員	かとう 加藤 ひろゆき 博之	平成 33 年 9 月 30 日	
委 員	ごしま 五嶋 ひさとし 久年	平成 30 年 9 月 30 日	

【平成 29 年度教育委員会審議案件等一覧】

回	議案番号	件 名	開催年月日
5	議第 2 6 号	平成 2 9 年度学校評議員の委嘱について	平成 29 年 4 月 27 日
	議第 2 7 号	瑞浪市学校給食センター運営委員の委嘱について	
	議第 2 8 号	瑞浪市化石博物館協議会委員の任命について	
	議第 2 9 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員の任命について	
	議第 3 0 号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	
	議第 3 1 号	瑞浪市図書館協議会委員の委嘱について	
	議第 3 2 号	瑞浪市教育委員会点検評価委員の委嘱について	
	議第 3 3 号	瑞浪市立小学校及び中学校の就学区域を定める規則の一部を改正する規則の制定について	
	議第 3 4 号	平成 2 9 年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置について	
	議第 3 5 号	平成 2 9 年度岐阜県教科用図書東濃採択地区協議会委員の選出及び研究員の推薦について	
6	議第 3 6 号	平成 2 9 年度瑞浪市教育費にかかる 6 月補正予算(第 1 号)について	平成 29 年 5 月 25 日
7	---	議案なし	平成 29 年 6 月 22 日
8	承第 1 号	専決処分の承認について（平成 2 9 年度専第 1 号市之瀬廣太記念美術館の臨時休館について）	平成 29 年 7 月 27 日
	議第 3 7 号	瑞浪市民図書館指定管理者選定委員会委員の委嘱について	
	議第 3 8 号	平成 2 9 年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書（平成 2 8 年度事業）について	
	議第 3 9 号	平成 3 0 年度使用小・中学校用教科用図書採択について	
9	議第 4 0 号	瑞浪市指定文化財の指定について	平成 29 年 8 月 28 日
	議第 4 1 号	平成 2 9 年度瑞浪市教育費にかかる 9 月補正予算(第 2 号)について	
10	議第 4 2 号	平成 2 9 年度瑞浪市教育功労者の選定について	平成 29 年 9 月 27 日 (次ページにつづく)
	議第 4 3 号	瑞浪市教育委員会指定管理者選定委員会規則の制定について	

回	議案番号	件 名	開催年月日
10	議第 4 4 号	瑞浪市教育委員会指定管理者候補者選定委員会設置要綱を廃止する教育委員会訓令の制定について	(前ページからのつづき) 平成 29 年 9 月 27 日
11	---	議案なし 教育長職務代理者の指定、委員の議席順の決定	平成 29 年 10 月 2 日 (臨時会)
12	---	議案なし	平成 29 年 10 月 26 日
13	承第 2 号	専決処分の承認について (平成 2 9 年度専第 2 号 平成 2 9 年度瑞浪市教育功労者の表彰について)	平成 29 年 11 月 24 日
	議第 4 5 号	平成 2 9 年度瑞浪市教育費にかかる 1 2 月補正予算 (第 4 号) について	
	議第 4 6 号	指定管理者の指定について (瑞浪市自然ふれあい館)	
	議第 4 7 号	指定管理者の指定について (瑞浪市民図書館)	
14	議第 4 8 号	瑞浪市児童生徒学業支援員配置要綱の一部を改正する教育委員会訓令の制定について	平成 29 年 12 月 21 日
	議第 4 9 号	平成 3 0 年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について	
1	議第 1 号	瑞浪市 I C T 活用推進計画について	平成 30 年 1 月 25 日
	議第 2 号	瑞浪市いじめ防止基本方針について	
2	議第 3 号	平成 2 9 年度瑞浪市教育費にかかる 3 月補正予算 (第 5 号) について	平成 30 年 2 月 14 日 (次ページにつづく)
	議第 4 号	平成 3 0 年度瑞浪市教育費にかかる予算について	
	議第 5 号	財産の取得について	
	議第 6 号	瑞浪市化石博物館の特別に開館する日について	
	議第 7 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に開館する日について	
	議第 8 号	瑞浪市地球回廊の特別に開館する日について	
	議第 9 号	瑞浪市陶磁資料館の特別に開館する日について	
	議第 1 0 号	瑞浪市民体育館の特別に開館する日について	
	議第 1 1 号	瑞浪市日吉スポーツ施設の特別に開館する日について	

回	議案番号	件名	開催年月日
2	議第12号	瑞浪市都市公園有料公園施設の特別に供用する日について	(前ページからのつづき) 平成30年2月14日
	議第13号	瑞浪市中央公民館の特別に開館する日及び特別に休館する日について	
	議第14号	瑞浪市陶公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第15号	瑞浪市稲津公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第16号	瑞浪市日吉公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第17号	瑞浪市釜戸公民館の特別に開館する日及び特別に休館する日の承認について	
	議第18号	瑞浪市大湫公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第19号	瑞浪市民図書館の特別に開館する日及び特別に休館する日の承認について	
	議第20号	平成30年度の瑞浪市の教育の方針と重点について	
3	議第21号	人事異動の概要及び異動について	平成30年3月6日 (臨時会)
4	議第22号	瑞浪市スポーツ推進委員の委嘱について	平成30年3月23日
	議第23号	瑞浪市化石博物館協議会委員の任命について	
	議第24号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員の任命について	
	議第25号	瑞浪市立小中学校管理規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	

3 平成 29 年度各課等の方針と重点（年度当初策定）

教育委員会では、「みずなみ教育プラン」の基本理念を実現するため、「方針と重点」に基づき、毎年各課において、事業を計画（Plan 計画）し、実施（Do 実行）します。そして、翌年度に事業の実施状況を点検評価（Check 評価→Action 改善）することで、教育行政の充実に努めています。

◇教育総務課	
方針	教育委員会の円滑な運営と学校環境等の整備・充実
重点Ⅰ	教育委員会の円滑な運営
施策	(1) 定例及び臨時教育委員会会議を開催し、教育委員会の政策決定事項や規則の制定改廃などを上程し決定する。 (2) 教育委員の資質向上を図るため外部研修会等への参加を支援する。また、市の教育課題に即した行政視察を行い、視察成果を教育施策に反映するよう努める。 (3) 近隣他市の教育委員会との交流を図り、情報共有に努める。 (4) 学校行事への参加や教育長学校訪問への随行、及び中学校統合準備委員会の傍聴等を積極的に行い、教育現場の状況把握に努める。
重点Ⅱ	安心・安全を確保するための施設等の整備
施策	(1) 学校施設の計画的な点検・整備に努め、児童・生徒の安全確保を図る。 (2) 老朽化した学校施設の整備計画を更新する。

◇学校統合推進室	
方針	健全な教育環境の整備
重点Ⅰ	中学校の統合再編の推進
施策	(1) 中学校統合準備委員会の円滑な運営を図る。 (2) 安心・安全な教育環境の充実に努める。

◇学校教育課	
方針	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
重点Ⅰ	確かな学力の育成
施策	(1) 児童生徒の学力分析をもとに指導改善を図り、学力向上につながる取組を推進する。 (2) 各家庭における児童生徒の自主的・自立的な生活・学習を支援する。 (3) コミュニケーション能力の育成を意識した取組を推進するために、小学校外国語活動・英語教育の充実に向けて支援する。 (4) 児童生徒の心の豊かさをはぐくむ読書活動を支援する。
重点Ⅱ	幼稚園・学校の職員の資質向上
施策	(1) 教師の豊かな教育実践の推進に向けて指導する。 (2) 教科指導力の向上及び今日的課題の克服に向けた研修の実施及び研修の充実に向けて支援する。 (3) 指導改善を視野に入れた授業をもとに、授業分析の手法を用いて授業を創造する力を高める。
重点Ⅲ	子どもの心と生活の安定を目指す生徒指導の推進
施策	(1) 子ども理解を深め、学級経営力を向上させるために支援する。 (2) 学校生活を楽しく充実したものにするために、いじめの未然防止・早期発見・早期解

	決に向けて支援する。 (3) 不登校児童生徒の心の安定を図り、学校復帰に向けて支援する。 (4) 命を大切にし、自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる道徳教育を推進する。
重点Ⅳ	一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実
施策	(1) 学校生活を楽しく充実したものにするために、要援助児童生徒の教育的ニーズに応じて支援する。 (2) 言語・発達通級指導を望む児童生徒及び保護者のための通級指導学級の運営を支援する。 (3) 児童及び保護者が小学校生活を安心して過ごすために、幼稚園と小学校との連携を支援する。
重点Ⅴ	幼保一体化による就学前教育の充実
施策	(1) 3歳児からの就学前教育を充実する。 (2) 幼保一体化における就学前教育の理解を推進する。
重点Ⅵ	中学校の統合準備
施策	(1) 瑞浪北中学校区における小学校間・中学校間の交流を行う。 (2) 瑞浪北中学校の開校に向けた諸事務を推進する。

◇学校給食センター

方針	安全で、栄養バランスのとれた、おいしい給食の提供
重点Ⅰ	衛生管理の徹底
施策	(1) 「学校給食衛生管理の基準」及び「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づいた調理を行い、衛生管理の徹底を図る。 (2) ノロウイルスによる食中毒の発生予防のため、手洗いと消毒の徹底を図る。 (3) 衛生管理に関する職員の研修会を年2回実施する。 (4) 異物混入の防止を徹底するとともに、異物混入時対応を迅速かつ適切に行う。
重点Ⅱ	給食の安定的な供給
施策	(1) 給食を確実・安全に配送するため、配送業務を専門業者に委託する。 (2) 調理業務、食器洗浄業務、食器消毒業務を民間委託する中で、給食に支障が出ないよう事前に綿密な打ち合わせを行う。
重点Ⅲ	施設・設備の整備
施策	(1) 夏休み期間に調理場等の点検を行う。
重点Ⅳ	安心で、美味しい給食の提供
施策	(1) 季節感のある給食、日本の食文化を大切にした給食、美味しい給食の調理を心掛ける。 (2) 地元農産物の使用を増やし、生産者の顔が見える安心な給食の提供に努める。 (3) 地元農産物、地元農家等への理解を深めるため、「ふれあい給食」を実施する。 (4) 学校医、養護教諭、給食主任、と連携し、医師による「食物アレルギー調査票」を保護者から提出してもらい、食物アレルギーへの対応に努める。
重点Ⅴ	食に関する指導の充実
施策	(1) 望ましい食習慣や食事のマナーなどを身に付けさせる。 (2) 食育の推進を図るため、栄養教諭等の学校訪問の回数と質を充実する。

◇社会教育課	
方針①	ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
重点Ⅰ	多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実
施策	(1) 各公民館の定期講座等が、地域住民の潜在的な学習ニーズの掘り起こしや地域の課題や地域の特性を生かした学習内容となるよう、公民館担当者会議等を活用して進める。 (2) 各公民館において発表機会の提供等を促進し、利用団体や登録自主グループ等の増加と活動の活性化を図る。 (3) 「生涯学習ガイドブック」の発行などにより、市内の学習機会に関する情報提供の充実に努める。
重点Ⅱ	地域での子育てに係る学習環境の整備
施策	(1) 家庭教育学級の内容充実を図るため、関係する研修会等への学級生の参加を促進する。 (2) 子どもの読書活動推進協議会等により市内の子どもの読書活動の現状・課題の把握に努め、子どもの読書活動の一層の拡大・充実に向けた啓発活動を進める。 (3) 青少年育成市民会議の部活動等の内容充実に向けて、市青少年育成推進員と共に課題研究及び啓発事業等を進める。
重点Ⅲ	高齢者の活躍の場づくり
施策	(1) 各公民館が開催する高齢者学級（寿大学）の参加者増大を図るため、公民館担当者会議等により課題研究を進める。 (2) 公民館文化祭等の行事において、高齢者等のボランティアが活躍できる内容を提供する。
重点Ⅳ	公民館・図書館等による人材発掘と育成
施策	(1) 公民館・図書館等でのボランティア活動が積極的に展開されるよう事業の運営についての工夫・研究を働きかける。 (2) 各種講座の講師や公民館利用団体等の指導者の情報収集と、学習指導者の育成を図る工夫や研究を進める。 (3) 生涯学習推進委員会の市民部会員の活動が、学習啓発にかかるボランティアの育成につながるよう活動内容の充実を図る。
方針②	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重点Ⅰ	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
施策	(1) 市文化協会の活動支援を通じて、文化協会祭等の開催にかかる参加者の増大や内容充実を図る。 (2) 各種文化芸術活動団体の中央公民館や地区公民館での発表機会を支援する。 (3) 中央公民館の文化ホールや展示室を活用した普及啓発事業を開催して、市民の芸術理解の深化や関心の増大を図る。
重点Ⅱ	後継者育成、文化芸術活動団体の支援
施策	(1) 中央公民館自主事業や市文化協会支援事業等を通じて、市内の文化芸術活動団体との連携を密にする。 (2) 中央公民館の利用にかかる郷土の伝統文化継承活動や青少年の文化芸術活動等を支援する。
方針③	子どもの成長支援のための幼児園・学校、家庭、地域の連携強化
重点Ⅰ	連携による家庭の教育力の向上
施策	(1) 幼児園・学校等との連携を強化し、公民館で開催する家庭教育学級（母親学級）の参加者の増大と内容充実を図る。 (2) 保健センター等と連携し、新たに親となる市民の学習機会の提供に努める。 (3) 家庭での子どもの読書活動の増大に向けて市民図書館と幼児園・学校との連携を図る。

重点Ⅱ	連携による地域の教育力の向上
施策	(1) 青少年育成市民会議において、地域の育成活動が活性化されるよう事業内容の検討や課題研究を進める。 (2) 市PTA連合会や市子ども会連合会の活動支援を通じて、地域での子育て・健全育成にかかる諸課題の研究を進める。 (3) 公民館事業としての、地域の青少年の居場所づくり活動等の研究を進める。 (4) 公民館文化祭等において中京学院大学との連携により食育等への関心拡大を図る。

◇スポーツ文化課	
(文化振興)	
方針①	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重点Ⅰ	まちぐるみで守る文化財とその活用
施策	(1) 文化財の調査・保存に努めるとともに、文化財の維持管理と活用を図る。
重点Ⅱ	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
施策	(1) 市民が気軽に伝統芸能等に親しむ機会を提供する。 (2) 市内の文化財や歴史的財産等に触れる機会を設ける。
重点Ⅲ	文化施設の充実
施策	(1) 親しみやすい文化施設を目指し、充実した事業を展開する。 (2) 所蔵資料の充実を図るとともに、専門的な調査・研究を継続する。 (3) 文化施設全体の将来像について、検討を始める。
重点Ⅳ	後継者育成、文化芸術活動団体の支援
施策	(1) 地域の伝統文化や伝統行事を未来に継承するため、各関係団体に支援を行う。
(スポーツ振興)	
方針①	誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進
重点Ⅰ	スポーツの場の充実
施策	(1) スポーツ施設の運営方法等を検討し、利用者環境の向上を図る。 (2) スポーツ施設・器具の点検を行い、安全・快適な利用者環境を整える。 (3) 市内公立小中学校と連携を図り、体育館の一般開放を推進する。 (4) スポーツの競技力向上を目指し、スポーツ振興を推進する。
重点Ⅱ	スポーツの機会の充実と魅力の発信
施策	(1) 市民にスポーツの楽しさと技術を伝える機会を設ける。 (2) スポーツに関するイベント等の情報を提供する。
重点Ⅲ	スポーツ推進委員の活用
施策	(1) スポーツ推進委員の活動を促進し、地域スポーツの推進を図る。
重点Ⅳ	体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携
施策	(1) 各スポーツ団体との連携を図り、スポーツの推進を図る。

4 平成30年度（平成29年度事業）評価一覧

連番	担当課	新規事業	整理No.	事業名	評価	ページ
1	教育総務課		1	教育委員会事務経費	A	12
2		○	2	旧陶中学校転用大規模改修事業	A	14
3		○	3	陶小学校転用関連事業	A	15
4	学校統合推進室		1	学校統合推進事業	A	16
5			2	スクールバス運行管理経費	A	17
6			3	瑞浪北中学校施設整備事業	A	18
7	学校教育課		1	ALT派遣事業	A	20
8			2	教育研修経費	A	22
9			3	小学校課題指定校経費	A	24
10			4	中学校課題指定校経費	A	25
11			5	教育支援センター運営経費	A	26
12			6	児童生徒学業支援員派遣事業	A	27
13			7	キャリア教育推進事業	A	28
14			8	幼稚園課題指定園経費	A	29
15			9	教育みずなみ発行経費	A	30
16			10	教育研究所運営経費	A	31
17	学校給食センター		1	学校給食配送委託事業	A	32
18			2	学校給食調理等委託事業	A	33
19			3	ふれあい給食事業	B	34
20	社会教育課		1	瑞浪市主張大会開催事業	A	36
21			2	生涯学習推進事業	B	37
22			3	青少年育成推進事業	A	38
23			4	成人式開催経費	A	39
24			5	中央公民館講座等開催経費	B	40
25			6	中央公民館文化祭開催経費	A	41
26			7	美術展開催事業	B	42
27			8	文化芸術振興経費	A	43
28			9	中央公民館自主事業	A	44
29			10	中央公民館市民参加型事業	A	45

連番	担当課	新規事業	整理No.	事業名	評価	ページ
30	スポーツ文化課		1	文化財調査保存事業	A	46
31	文化振興		2	埋蔵文化財発掘等調査事業	A	47
32			3	保存資料等刊行事業	A	48
33			4	こいのぼり祭事業	A	49
34			5	文化財維持管理事業	A	50
35			6	(化石博物館)定期研究報告発行事業	A	51
36			7	(化石博物館)定期講座開催経費	A	52
37			8	化石博物館定期展示会開催事業	A	53
38			9	(化石博物館)化石資料調査収集事業	A	54
39			10	(市之瀬廣太記念美術館)定期展示会開催事業	A	55
40			11	(市之瀬廣太記念美術館)彫刻講座等開催経費	A	56
41			12	(陶磁資料館)作陶講座開催経費	A	57
42			13	(陶磁資料館)定期展示会開催事業	A	58
43			14	(陶磁資料館)定期刊行物発行経費	A	59
44			15	(陶磁資料館)展示資料等購入整理事業	A	60
45	スポーツ振興		16	各種体育大会開催経費(激励金交付事業)	A	61
46			17	スポーツ教室等開催経費	A	62
47			18	トップアスリート交流事業	A	63
48		○	19	市民競技場整備事業	A	64
	新規事業合計	3				

【評価区分】

A	順調に達成している
B	おおむね順調に達成している
C	達成見込みであるが課題がある
D	順調でない

5 各課の事業評価

※事業評価中、予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載しています。

◇教育総務課の事業評価

方針	教育委員会の円滑な運営と学校環境等の整備・充実
重点	I 教育委員会の円滑な運営 II 安心・安全を確保するための施設等の整備

方針と重点の重点番号	I	連番	1	事業名	教育委員会事務経費	評価	A
【事業の概要】 毎月教育委員会定例会及び協議会を開催し、教育委員会の方針や規則の制定改廃、歳入歳出予算、人事案件等の議案案件等について慎重審議し、円滑で適正な教育行政の運営を行います。教育委員は、学校行事への参加や教育長訪問への同行、その他教育関係の行事などに参加することで、教育現場の現況把握に努めます。また、教育委員の資質向上のため、外部研修会等への参加を支援します。また、市の教育課題に即した行政視察を行い、視察成果を教育施策に反映するよう努めます。							
【事業の実績】 【開催回数】 定例会：12回、臨時会：2回 【審議件数】 議案：51件（うち可決・承認：51件） 【協議会】 12回 ※主な協議事項：明世小学校児童数増加対応策について、 瑞浪市ICT活用推進計画（案）について、教職員の働き方改革についてなど 【総合教育会議】 2/19 【その他】 学校訪問、式典等への参加（成人式等）、陶小学校新校舎の視察（2/27）、 市町村教育委員会連合会研究総会（11/10 飛騨市古川町）、 東濃西部教育委員研修協議会に参加（7/19 土岐市）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 教育委員会の会議を適切に開催します。							
【事業の成果と課題】 月1回の教育委員会定例会を開催し、議事案件について慎重審議し、円滑で適正な教育行政の運営ができました。協議会では、明世小学校の校舎棟増築やICT活用推進計画、教員の働き方改革など、喫緊の課題について、委員の意見、提案を聞き、方針決定の参考としました。総合教育会議においても、協議会での協議を基に委員から市長に提案するなど、活動に広がり、深まりができました。教育委員は、入学式、運動会・体育祭（大会）、小中音楽会、研究発表会などの行事のほか、教育長指導訪問に同行するなど、積極的に学校訪問し、教育現場の現状把握に努めました。また、訪問時の感想や気づきなどを毎月の協議会において報告しあうことで、情報共有や事務局、学校の取組みを振り返る機会とすることができました。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	1,897,000		1,649,947		87.0		

【評価委員からの意見と対応】

○臨時会の内容はどのようなものでしたか。

→ 1 回目は 10 月 1 日付の教育委員の交代について、2 回目は 3 月下旬の教員の人事異動についてで、いずれも人事案件です。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連番	2	事業名	旧陶中学校転用大規模改修事業	評価	A
----------------	---	----	---	-----	----------------	----	---

【事業の概要】

平成 30 年度に旧陶中学校校舎に陶小学校を移転して使用するため、小学校として使用できるよう平成 29 年度に改修工事を実施します。

工事業者が決定次第、工事スケジュールの調整を行います。また、定例会議等で工事の進捗状況等を管理します。

【事業の実績】

平成 29 年 4 月 5 日 開札

平成 29 年 4 月 17 日 板垣建設（株）瑞浪支店と仮契約

平成 29 年 5 月 10 日 議会の承認を得て本契約を締結、工事着手

平成 30 年 2 月 20 日 工事完了

毎週定期的に定例の工事打合せ会を開催し、月初めには、小学校職員も交えて学校からの要望、学校行事等の調整を図りました。

校舎の外壁・屋根は、塗装・防水改修を行い、新たに 25 メートルプールや野外運動場に遊具の設置をしました。また、校舎内部においては、階段に小学生用の手すりを設置したり、手洗い・黒板高さを小学生が使いやすいよう下げ、洋式便器設置を含むトイレ改修、各所照明の LED 化、ガスストーブの更新を図るなど、旧中学校を小学校仕様に改修すると共に教育環境の向上のための施設整備が行われました。

【前年度の評価を踏まえた取組み】

※平成 29 年度新規事業

【事業の成果と課題】

平成 29 年度において無事転用大規模改修が完了しました。今後は、実際の学校を運営していく中で、危険箇所などの不具合の洗い出しをし、更なる教育環境の充実のために必要な維持修繕、保全管理を行います。

決算の状況	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	314, 200, 000	312, 912, 720	99. 6

【評価委員からの意見と対応】

○新しい校舎に移って、陶町民や保護者の感想はどうですか。

→保護者は当初、小学校とするには複雑な構造すぎないかと不安視していましたが、きれいな校舎となり、児童、保護者、町民ともに好評です。

○低学年の教室は、1 階で教室から下駄箱、グラウンドまでスムーズに出られるような配置になっていますか。

→低学年の教室を西棟 1 階に集め、玄関、下駄箱を経由してすぐに保健室、1、2 年生の教室を配置してあります。グラウンドにもすぐに出ることができます。

○玄関にあった旧中学校校舎のガラスのモニュメントはどうしましたか。

→危険なこと、中学校のモニュメントであることから撤去しました。町の施設で保管中です。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	3	事業名	陶小学校転用関連事業	評価	A
【事業の概要】 平成 30 年度に旧陶中学校校舎に陶小学校が移転して使用するため、小学校校舎から備品等の引っ越しや校舎内の清掃を実施します。 また、地元が開催する移転に伴う小学校移転記念事業に補助金を交付します。							
【事業の実績】 旧小学校校舎から新小学校校舎への備品等の移動に際しては、学校と調整するなかで夏休みから移動するものを選別し、平成 29 年 10 月 25 日に引越し業者を決定しました。11 月～1 月に複数回の打合せを行い、段ボールの手配、資材整理・引越し準備を経て、年度末までに引越しを終え、無事に 4 月の移転開校を迎えることができました。 また、小学校移転記念事業への交付金については、平成 29 年 10 月 11 日に陶小学校移転準備委員会からの交付申請を受領し、必要な事業へ交付を行い、小学校移転記念リーフレットの発行や記念講演等を実施することができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 29 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 無事事業を完了することができました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	8,698,000			7,366,647		84.7	
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

◇学校統合推進室の事業評価

方 針	健全な教育環境の整備
重 点	I 中学校の統合再編の推進

方針と重点 の重点番号	I	連 番	4	事業名	学校統合推進事業	評価	A
【事業の概要】 統合に必要な課題協議のため、北部地域統合準備委員会及び専門部会を開催しました。また、生徒間交流事業等を実施します。							
【事業の実績】 ・北部地域統合準備委員会及び専門部会を開催し、課題の協議を行いました。 【主な決定事項】 ①校章デザイン ②PTA規約 ・委員会での協議・決定内容について、統合準備委員会ニュースを発行し対象地区への配布とホームページに掲載をしました。 ・児童・生徒の交流事業・生徒会サミットを開催し、統合への期待を膨らませることができました。(小学校交流：5回 中学校交流：1回 生徒会サミット：2回)							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 専門部会の開催を増やし課題協議を進めたことで、スムーズかつ前倒しでの課題解消が進みました。引き続き、前倒しでの協議を進めていきます。							
【事業の成果と課題】 平成30年度は瑞浪北中学校の開校前年となるため、統合準備委員会及び学校関係者と連絡を密にし、開校に向け漏れのないよう準備を進めていきます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	539,000			444,357		82.5	

【評価委員からの意見と対応】 ○交流事業における児童生徒の様子はどうか。 →「当初は戸惑いもあったが、仲良くなれてよかった」「統合が楽しみ」といった声が届いています。回を重ねるごとに和気あいあいとしてきました。
--

方針と重点 の重点番号	I	連 番	5	事業名	スクールバス運行管理経費	評価	A
【事業の概要】 瑞浪南中学校のスクールバス及びクラブバスの運行管理を行います。							
【事業の実績】 ・学校行事等に合わせ柔軟にスクールバスの運行をすることができました。 ・クラブ関係者との調整により、クラブ活動支援バスの運行を行いました。 【スクールバス運行業務】 契 約 先 ： 平和コーポレーション株式会社 契約期間 ： 平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日 契約金額 ： 66,419,760 円 【クラブバス運行業務】 契 約 先 ： 株式会社ポルテ 契約期間 ： 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 契約金額 ： 2,084,400 円							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 学校・クラブ関係者との事前調整により、前年度より効率的に運行できました。							
【事業の成果と課題】 スクールバスを計画どおり運行することができました。生徒・保護者からの意見・苦情等はありません。引き続き、学校及び運行業者と調整を行っていきます。 クラブ活動支援バスは、運行実績、他校との公平性の観点から今年度で運行打ち切りを決定しました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	16,583,000			15,309,260		92.4	
【評価委員からの意見と対応】 ○瑞浪北中学校でクラブ活動支援バスは運行するのか。 →運行しません。 ○瑞浪北中学校におけるバス台数はどれほどか。 →小型バス 6 台の予定です。							

方針と重点 の重点番号	I	連 番	6	事業名	瑞浪北中学校施設整備事業	評価	A
【事業の概要】 平成 31 年 4 月開校の瑞浪北中学校の校舎・屋体建築工事。施設整備及び開校に向けた引越、消耗品・備品等の整備を行います。							
【事業の実績】 ・敷地造成工事が完了し、校舎・屋内運動場新築工事に着手しました。 ・瑞陵中学校校舎等解体及び管理棟他改築・グラウンド等改修設計業務を行いました。							
【土地造成工事】 契 約 先 ： 市川・今井特定建設工事共同企業体 契約期間 ： 平成 28 年 3 月 4 日～平成 29 年 9 月 30 日 契約金額 ： 474,869,520 円							
【校舎・屋内運動場新築工事】 契 約 先 ： 岐建・中島・青協特定建設工事共同企業体 契約期間 ： 平成 29 年 6 月 27 日～平成 30 年 12 月 28 日 契約金額 ： 3,391,200,000 円							
【校舎・屋体建築工事監理業務】 契 約 先 ： 株式会社日建設計名古屋オフィス 契約期間 ： 平成 29 年 3 月 8 日～平成 30 年 12 月 28 日 契約金額 ： 71,592,000 円							
【瑞陵中学校校舎等解体及び管理棟他改築設計業務】 契 約 先 ： 株式会社パトス建築設計室 契約期間 ： 平成 29 年 8 月 3 日～平成 30 年 3 月 20 日 契約金額 ： 5,331,960 円							
【グラウンド等改修設計業務】 契 約 先 ： サンコーコンサルタント株式会社岐阜営業所 契約期間 ： 平成 29 年 8 月 3 日～平成 30 年 3 月 28 日 契約金額 ： 5,998,320 円							
※繰越額 ： 校舎・屋体建築工事 613,100,000 円 校舎・屋体建築工事監理業務委託料 21,480,000 円							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 関係部署との調整により、計画どおり事業が進捗しています。引き続き、綿密な打合せを行いながら事業を進めます。							
【事業の成果と課題】 平成 31 年度の開校に向けた施設整備が計画どおり進捗しています。 建築に係る補助金（スーパーエコスクール実証事業・サステナブル建築物先導事業・内装木質化）について、手続きを進めました。 開校年度に遅延のないよう関係部署と調整をしていきます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	1,200,216,000			563,531,930		47.0	

【評価委員からの意見と対応】

○工事の進捗はどれほどか。

→予定より 2～3 週間前倒しで進捗しています。

○余った備品は廃棄する予定か。

→余剰分は他校、各地区に引き渡す予定です。残りは廃棄します。

○引越はいつごろか。

→年明けから順次行う予定。2、3 月に本格的に行います。

◇学校教育課の事業評価

方 針	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
重 点	I 確かな学力の育成 II 幼稚園・学校の職員の資質向上 III 子どもの心と生活の安定を目指す生徒指導の推進 IV 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実 V 幼保一体化による就学前教育の充実 VI 中学校の統合準備

方針と重点 の重点番号	I	連 番	7	事業名	A L T派遣事業	評価	A
【事業の概要】 ・外国人英語指導助手（JET プログラム 1 名・業者委託 2 名）が幼小中を訪問し、英語教育、外国語活動、英語活動、国際理解教育を進めます。							
【事業の実績】 ・幼小中への計画的な訪問指導を実施することができました。また、各小学校 5、6 年生には、年間 35 時間以上「小学校外国語活動」の時間すべてに訪問し、日本人教師とのチームティーチングを行うことができました。 ・「Hi, friends 1、2」を活用し、A L Tによる良質の input を与えるなど、授業の充実を図ることができました。 ・訪問日数は、のべ 610 日でした。研究所勤務を含めると 635 日になりました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・平成 28 年度より、業者との契約方法などを見直し、プロポーザルにより派遣業者を選定し、より質の高い A L Tによる指導が行えるようにしました。							
【事業の成果と課題】 ・幼稚園では A L Tの派遣により国際理解教育を進めることができました。 ・小学校 5、6 年生においては、「外国語活動」の時間すべてに A L Tが訪問し、より効果的な学習活動が行えました。また、小学校低・中学年では「ゆとりの時間」や「総合的な学習の時間」に計画的に A L Tが訪問し、英語への慣れ親しみと同時に、国際理解を深めることにつながりました。 ・中学校では、より具体的な場面において、生徒が自己の考え・思いを交流する機会が増える中で、A L Tによる適切な表現への言い換えや、平易な表現の紹介などが有効に働いています。その結果、自分の考えが伝えられたことへの高まりや達成感を実感できることにつながっています。 ・小学校外国語教育の早期化・教科化に向けて、A L Tも交えた外国語活動・英語教育に係る研修を充実させたり、校種間の交流を進めたりし、外国語活動・英語教育に携わる教職員の指導力をさらに高めていく必要があります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	15,239,000			14,856,311		97.5	

【評価委員からの意見と対応】

○中学校への訪問頻度はどのようなのですか。

→毎週学校をかえて出かけています。中学校は英語の専門教師がいるので、小学校より頻度は少ないです。

○小学校5、6年に対して、免許外の教師とALTのコンビで授業はうまくできていますか。

→以前は免許外であるからとしり込みする教師もいましたが、今は前向きになり随分できるようになってきました。30年度からは3、4年も週1コマ、5、6年は2コマとなるので、研修しているところです。今年はほとんどの授業にALTを派遣できますが、ぎりぎりの人数なので来年度は1名増員要望を考えている。文部科学省から小学校における英語教育実施のために必要な補助教材が提供されているので、どの学校も同じ内容で実施しています。またALTも小学校を中心に訪問しているので安心してください。

○小学校から英語を学びはじめて、中学校で成果は出ていますか。

→数値化は困難です。中には早くやることで英語アレルギーが出た子もいるかもしれませんが、英語を学ぶのが当たり前という土壌ができたと感じています。データ収集を試みます。

○子どもの英語に対する抵抗感が薄れたことは成果といえます。

○日本人教師でもできることをALTにさせており、もったいないと思います。活用方法を工夫してほしい。幼稚園児は緊張せず、ALTと触れ合えるので、幼稚園にもっと派遣し、一緒に遊んだり、触れ合う機会を増やすとよいと思います。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	8	事業名	教育研修経費	評価	A
【事業の概要】 ・教職員の資質向上のための研修会を実施します。 ・小中学校の授業研究会に外部専門講師を招聘します。							
【事業の実績】 ・夏季研修会については、幼稚園 60 名、小中学校 210 名の合計 270 名の参加を予定していましたが、実際には、1 日研修が中止になったものの、4 日間のべ 318 名が受講しました。 ・外国語活動、英語教育、特別支援教育、いじめ防止、外国人児童生徒への日本語指導、幼児教育、作陶体験、瑞浪市歴史探訪、実践論文等 合計 16 講座を実施しました。 ・各学校の授業研究会や研修会に外部講師を招聘し、活動や授業の充実に努めました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・多方面にわたる教職員の資質向上が求められており、さらに多様な研修を計画・実施しました。							
【事業の成果と課題】 ・教職員のニーズに応じた研修及び教育の今日的な課題に係る研修の実施により、資質向上が図られました。 ・平成 30 年度より移行期間に入る小学校の外国語活動・英語教育に係る研修を実施しました。先進校の実践者から、教材の活用の仕方や授業の進め方を学び、受講した教職員は具体的に授業のイメージをもつことができました。 ・プログラミング教育の実施やタブレットの導入に備え、I C T 教育にかかわる研修を計画・実施する必要があります。 ・各園・学校における研修会では、各園・学校の研修課題に応じた研修を充実させることができました。 ・予算編成時に学校に対し講師要望調査を行い予算要求していますが、学校では新年度が始まってから研修計画を決定するため、要望と乖離する例があり、課題となっています。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	373, 000			195, 805		52. 5	

【評価委員からの意見と対応】 ○学力調査は市独自のものを含め 3 回もやっているが、それほど必要ですか。十分活用されていますか。 →平成 30 年度から県の学力検査は廃止されました。全国学力調査は小 6、中 3 が対象で、結果が夏過ぎにしか来ません。市独自のものは小 5、中 2 に実施しており、在学中の指導の充実に活かすことができます。 ○プログラミング、タブレット導入についての方針はどのようなですか。 →I C T 教育、平成 30 年度にタブレット 42 台導入し、モデル校で活用を実証実験中です。来年度、中学校生徒用 P C をすべてタブレット型 P C に更新します。小学校は平成 32 年度に導入します。プログラミング教育は、文科省の具体的な指示がないため、情報収集しています。 ○予算時の要望と実際とでかい離があり不用額が多いとのことだが、それでよいですか。 →要望を見込み量で予算化しており、学校からの要望には全て対応できていますが、適切な
--

予算編成、事業実施を指導します。

○タブレットの使い方はどのようなですか。

→モデル校で検証中です。例えば、授業の導入部分で資料を見せるとか、体育で鉄棒の授業に活用するなどです。

○オーストラリアやニュージーランドの学校では、タブレット持参が義務となっています。勉強ができることも大事ですが、タブレットを使って自分の考えがきちんと発表できる子供になるように指導してほしいと思います。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	9	事業名	小学校課題指定校経費	評価	A
【事業の概要】 ・3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援します。 ・指定校は課題を策定・研究し3年目に研究発表会を実施します。							
【事業の実績】 ・10月18日に、釜戸小学校において、研究主題「筋道立てて考え、表現できる子～大切にしたい数学的な考え方に気づき、それを活用する授業～」で、研究発表会を行いました。 ・8学級の公開授業を行いました。市内外教職員等参加者を、120名ほど予定していましたが、実際には150人の参加がありました。 ・授業の型によって「解決の見通しの場」と「学びが実感できる評価の場」の目的を明確にした上で指導過程を構成しました。その結果、考えの根拠を明確にしながら、自信をもって表現する児童が育ってきました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・本事業を行うことで、発表校の教職員の力量向上とともに、児童の学習する力の向上につながるので、継続しました。							
【事業の成果と課題】 ・釜戸小学校で研究発表会を実施し、教職員の力量を高めることにつながりました。 ・「数学的な考え方」に視点を当て、学年や単元のつながりを大切にした算数科の指導のあり方は、他校の教職員が参考にできる研究発表会となりました。 ・発表校の教職員の力量向上とともに、児童の学ぶ力の向上につながり、継続していくことが重要です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	320,000			311,651		97.4	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	10	事業名	中学校課題指定校経費	評価	A
【事業の概要】 ・3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援します。 ・指定校は課題を策定・研究し3年目に研究発表会を実施します。平成30年度は、瑞陵中学校が発表会を行います。							
【事業の実績】 ・平成29年度は、3年サイクルの2年目にあたります。平成30年度の研究発表会に向けて、教育長訪問や研究会等で、研究推進全般や教職員の指導力向上についての指導、助言を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・平成30年度は、10月に瑞陵中学校が発表会を行います。3年間の研究の成果を市内中学校教師に向けて発表します。							
【事業の成果と課題】 ・教育長訪問や研究会等での指導、助言により、教職員の指導力向上と確かな教育推進につなげることができました。また、発表会に向けての見通しをもたせることができました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	0			0		---	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	連番	11	事業名	教育支援センター運営経費	評価	A
----------------	---	----	----	-----	--------------	----	---

【事業の概要】

- ・不登校児童生徒の学校復帰を目指して指導員2名（嘱託職員）により適応指導を行います。
- ・適応指導教室室長による学校訪問や保護者面談をしながら、適応指導教室への通級を勧める活動を行います。また、実態に応じて、スクールカウンセラーやスクール相談員、スクールソーシャルワーカー、瑞浪市巡回臨床心理士と連携した支援も進めていきます。
- ・通級する児童生徒に対しては、「援助シート」を作成し、指導員が実態に応じて学習や生活の個別指導を行い、対人関係を学んだり、学習の遅れを取り戻したりしながら、学校復帰を目指します。

【事業の実績】

- ・不登校児童生徒に対し、学校・他の教育機関、関係機関等と連携して、該当児童生徒や保護者へ働きかけ、7名の小中学生が通級できるようになりました。また、室長が学校訪問し、情報を共有して対応することで、通級への意欲を見せたり、見学したりした児童生徒が6名いました。
- ・適応指導教室では、学校とともに「援助シート」を作成し、支援目標、支援方法等を明確にし、計画的・継続的に支援を進め、徐々に遅れを取り戻しています。
- ・中学校3年生生徒の進路指導を支えるために、新しく「進路相談・進路対策講座」を火曜日と木曜日に開催し、進路への不安を取り除くようにしました。
- ・教育相談活動については、平成29年度、414件（H28、175件）の相談を行いました。

【前年度の評価を踏まえた取組み】

- ・室長と教育委員会職員が学校訪問をしたり、学校職員が教育支援センターを訪問したりして、不登校児童生徒に関わる情報を共有しながら支援を行うようにしました。

【事業の成果と課題】

- ・適応指導教室に通う児童生徒、見学に来る児童生徒が増加しました。また、それらの中には、学校へ行く回数が増えてきた子が多くいました。
- ・学校復帰を目指し、「援助シート」を作成して、計画的・継続的に指導ができました。
- ・こぶし教室運営委員会の開催、通信の発行、各小中学校の訪問を通して学校との連携を図り、情報の共有化及び各ケースの実態に応じた支援を行いました。
- ・家庭状況、多様な学びの場の選択等により、適応指導教室への入級や学校復帰への見通しがもてない児童生徒がいるため、より多くの児童生徒の学校復帰に向けて引き続き努力する必要があります。

決算の状況	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	7,409,000	7,126,669	96.2

【評価委員からの意見と対応】

○昨年度の不登校児童生徒の人数はどのようなのですか。

→不登校とは年間30日以上欠席した場合を指します。昨年度末、小1：0人、小2：2人、小3：1人、小4～6：各2人。中1：7人、中2：5人、中3：14人でした。今年の4月末時点で、小学校3人、中学校12人です。教員が接触できない子は0人。4、5月は担任等も変わり、信頼関係づくりに努めています。

○「多様な学びの場」とはどのようなものですか。

→ホームスクーリング（HS）やフリースクール（FS）などです。

方針と重点 の重点番号	Ⅳ	連 番	12	事業名	児童生徒学業支援員派遣事業	評価	A
【事業の概要】 ・小中学校において、学級担任や教科担任の補助として、特別な支援を必要とする児童生徒（発達障がい、学習障がい等のある児童生徒、日本語の理解が難しい外国籍児童生徒等）へ個別支援を行う人員を配置します。							
【事業の実績】 ・小学校 7 校へ 17 名、中学校 5 校へ 6 名、図書支援員として 2 名、合計 25 名を派遣しました。 ・各校では、授業中の学習支援や休憩時間等の生活支援を個の実態に応じて行いました。 ・図書支援員は、購入した新刊図書の配架や掲示物の作成、委員会活動のサポートなどを行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・夏季研修会（特別支援教育、図書館経営）へ参加することにより、支援員の一層の資質向上を図るようにしました。							
【事業の成果と課題】 ・学校の実情を踏まえて 25 名の学業支援員を派遣できました。 ・各校で時間割を工夫する等して、限られた支援員を有効に活用することができました。また、学業支援員の派遣により、子どもの困り感に寄り添ったきめ細かい支援が可能となり、安定した生活姿勢、学習に対する意欲の喚起につながりました。 ・東濃地区学校図書館教育賞において、優秀賞を釜戸小学校、釜戸中学校が、奨励賞を瑞浪小学校が、努力賞を日吉小学校が受賞しました。 ・特別な支援を必要とする児童生徒は増加しており、支援員の増員が必要です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	27,685,000			25,272,780		91.3	

【評価委員からの意見と対応】 ○「学業支援員の増員が必要」とあるが、随分前から同じ課題が出ています。ぜひ、人材確保のため、処遇を厚くすることも併せて、増員するための予算をつけてほしいと思います。 →積極的に予算要望はしていきますが、予算の範囲内で優先順位があります。
--

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	13	事業名	キャリア教育推進事業	評価	A
【事業の概要】 ・ 中学 2 年生の職場体験学習の充実に向けて支援します（推進懇談会の実施・賠償保険料の支払い）。 ・ 生徒が将来のことや生活の仕方を深く考えることができるように、事前及び事後の指導が充実するよう支援します。							
【事業の実績】 ・ 市内中学校 5 校の 2 年生 290 名が、のべ 156 事業所で職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ・ 職場体験学習が円滑に実施できるようキャリア教育推進懇談会を年 2 回（7 月、12 月）実施し、関係団体の会長等との懇談を充実させることができました。 ・ 事前や事後の指導において、関係団体の方から話を聞く機会をもち、より深く将来のことや生活の仕方について考えることができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・ 学校と事業所との打ち合わせをより綿密に行うようにしました。また、事前・事後指導を大切にしました。							
【事業の成果と課題】 ・ 市内中学 2 年生全員が事故なく職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ・ 事業所の協力を多く得られ、1 事業所当たりの生徒数が 2 名を下回ることで、生徒の主体的な活動につながりました。また、温かい支援により生徒が充実感を得られました。 ・ 推進懇談会については、地域ぐるみのキャリア教育を推進していくため、引き続き実施していく必要があります。 ・ 学校と事業所との打合せをより綿密にする必要があります。 ・ 体験活動だけでなく、キャリア教育の目的をより明確にした指導が大切です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	148,000			144,540		97.7	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	V	連 番	14	事業名	幼稚園課題指定園経費	評価	A
【事業の概要】 ・2年サイクルで研究園を指定し、教育活動を支援します。 ・指定園は課題を策定・研究し2年目に研究発表会を実施します。 ・平成29・30年度は「みどり幼稚園」を指定しています。							
【事業の実績】 ・教育長訪問や研究会等で、研究推進全般や教職員の指導力向上についての指導、助言を行いました。平成29年度は、2年サイクルの1年目でした。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・次年度の指定園発表会に向けて、焦点化した研究を推進しました。							
【事業の成果と課題】 ・教育長訪問や研究会等での指導、助言により、教職員の指導力向上と確かな教育推進につながることができました。また、発表会に向けて見通しをもたせることができました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	0			0		---	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	15	事業名	教育みずなみ発行経費	評価	A
【事業の概要】 ・教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）を発行します。 ・分析授業の「授業記録」を発行します。							
【事業の実績】 ・「教育みずなみ」No.64-1～12 を発行しました。 ・年度末のアンケートからは、分析授業や学力向上等の「教育みずなみ」の掲載記事が「参考になった」という教職員は92%と、よい反応がありました。 ・分析授業の「授業記録」を発行し、詳細な授業記録を残すことができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・年々変わる教育課題に対応できるよう、掲載内容を一部変更し、教員の資質向上の一助としました。 ・経費縮減の為、発行部数を減らしました。							
【事業の成果と課題】 ・「教育みずなみ」で、幼小中の特色ある取組、学力向上に係る取組等、具体的な実践を紹介することができました。 ・年々変わる教育課題に対応できるよう、掲載内容を一部変更し、教員の資質向上の一助としていく必要があります。 ・研究所主催の分析授業の「授業記録」を発行しました。詳細な授業記録をもとに、授業の分析を進めることで、関係教諭の指導力の向上につながりました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	658, 000			524, 851		79. 8	

【評価委員からの意見と対応】 ○「授業記録」の授業者はどのような人になりますか。立候補ですか。 →中堅層で、他の教員にぜひ参考にしてほしい教員を教育研究所が指定しています。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	16	事業名	教育研究所運営経費	評価	A
【事業の概要】 - 各学校の代表である嘱託所員、学校所員とともに所員会、分析授業等を通して授業研究を行います。 - 各教職員の研究成果をまとめた論文を審査・表彰し「教育実践研究論文集」に集録する等、教員の研究活動を奨励・援助し教育レベルの向上を図ります。							
【事業の実績】 - 教育実践論文を募集、審査、表彰し入賞作品を「教育実践研究論文集」に集録しました。59人(59点)の応募がありました。 - 分析授業を冊子「授業記録」にまとめ、嘱託所員、学校所員とともに1年をかけて詳細に分析しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 配付数を少なくするなど経費削減の努力をしました。							
【事業の成果と課題】 - 教育実践論文の応募が、59人(59点)ありました。応募率は28%にのぼり、教職員の資質向上につながっています。 - 優秀論文を「教育実践研究論文集」にまとめ、市内教員に配付することで、効果的な教育実践を広めることができました。配付数を少なくするなど、経費削減の努力をしていく必要があります。							
決算の状況	予算額(円)			決算額(円)		執行率(%)	
	574,000			386,659		67.4	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

◇学校給食センターの事業評価

方 針	安全で、栄養バランスのとれた、おいしい給食の提供
重 点	I 衛生管理の徹底 II 給食の安定的な供給 III 施設・設備の整備 IV 安心で、美味しい給食の提供 V 食に関する指導の充実

方針と重点 の重点番号	II	連 番	17	事業名	学校給食配送委託事業	評価	A
【事業の概要】 学校給食を市内の小・中学校に限られた時間内に確実・安全に配送するため、配送業務を専門業者に委託します。							
【事業の実績】 ・契 約 先：東海西濃運輸株式会社 岐阜東濃支店 ・契 約 期 間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日 ・配送施設数：小学校 7 校、中学校 5 校 1 学期 69 日・2 学期 82 日・3 学期 52 日 計 203 日の給食を配送。 ・配 送 車 両：4 台							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 安全に運行できるよう、委託業者と連絡を密に行いました。							
【事業の成果と課題】 市内の小・中学校へ給食の配送を、給食時間までに確実に実施することができました。配送途中の事故により、おかずのうち 1 品を 1 校に供給できない日が 1 日ありました。配送が適切に行われるよう委託業者を指導していくことが必要です。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	21,384,000		21,384,000		100.0		

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	18	事業名	学校給食調理等委託事業	評価	A
【事業の概要】 小・中学校 12 校の学校給食約 3,100 食の調理・食器洗浄業務等を民間業者に委託し、安心安全な給食を提供します。							
【事業の実績】 ・契 約 先：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 ・契 約 期 間：平成 26 年 11 月 28 日～平成 30 年 3 月 31 日 (契約日から平成 27 年 3 月 31 日までは準備期間) ・履 行 期 間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 ・対象施設数：小学校 7 校、中学校 5 校 1 学期 69 日・2 学期 82 日・3 学期 52 日 計 203 日 571,140 食の給食を提供しました。 警報発令による休校のため、給食が中止となった日が 1 日ありました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 配缶や検収の誤りを無くすよう、受託者への適正な人員の確保を依頼しました。 衛生面で気になるところは、その都度、栄養教諭が責任者や朝礼時に周知させました。							
【事業の成果と課題】 美味しい給食を提供することができました。 調理員が慣れてきたため、配缶の誤りは減ってきました。 平成 30 年度から受託業者が変更になりますが、引き続き、安全安心で美味しい給食を時間までに提供できるよう、受託者へ適正な人員の確保を依頼していく必要があります。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	56,986,000		56,985,120		100.0		

【評価委員からの意見と対応】 ○平成 30 年度からなぜ委託業者が変わるのですか。 →ずっと同一の業者では質の向上、コスト面で課題が生じることがあるので、3 年ごとに契約を見直しています。入札により、平成 30 年度からハーベストネクスト（株）と契約しました。

方針と重点 の重点番号	IV	連番	19	事業名	ふれあい給食事業	評価	B
【事業の概要】 地元農産物、地元農家等への理解を深めるため、1月24日から1月30日の全国学校給食週間にあわせ、地元野菜の生産者等で給食時間に市内の小学校を訪問し、話をしながら一緒に給食時間を過ごします。 当日は地元産の野菜や畜産物を献立に取り入れ、地産地消を推奨します。 生産者が子どもたちに野菜作りの苦労話などを行うことで、地元産の野菜等に興味を抱き好き嫌いなく食するようにします。							
【事業の実績】 1月29日に地元生産者等が陶小学校を訪問し、給食時間に各クラス2名から3名の農家の方と児童が交流する計画をたてました。 ・当日の献立：きしめん、五平餅、ブロッコリーのおかか和え、きしめんの汁、牛乳 ・当日使用する予定の瑞浪産食材：日吉みそ、瑞浪ポーノポーク、干しいたけ 当日はインフルエンザが流行し、児童の欠席が多くなったため、中止しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成29年度新規事業							
【事業の成果と課題】 全国学校給食週間は、インフルエンザの流行期間と重なることが多く、児童や農家の方の体調により実施が困難となることがあります。 「JAとうと」との連携を深め、生産者を確保し、多くの農家に参加していただくことが必要となります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	0			0		---	

【評価委員からの意見と対応】 ○ふれあい給食が実施される1月は、地元で産出される野菜がほとんどなく、またインフルエンザ等が流行しているので時期を変えて開催してはどうですか。 →今後の参考とさせていただきます。

◇社会教育課の事業評価

方針①	ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
重 点	I 多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実 II 地域での子育てに係る学習環境の整備 III 高齢者の活躍の場づくり IV 公民館・図書館等による人材発掘と育成
方針②	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重 点	I 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 II 後継者育成、文化芸術活動団体の支援
方針③	子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化
重 点	I 連携による家庭の教育力の向上 II 連携による地域の教育力の向上

方針と重点 の重点番号	①Ⅱ	連番	20	事業名	瑞浪市主張大会開催事業	評価	A
【事業の概要】 少年の主張岐阜県大会瑞浪市予選を兼ね、青少年育成事業として開催します。また、市民が子ども・若者の考えを知る機会としても開催します。市内の各小・中・高等学校の代表（各校1名）、及び一般応募者が開催要項に定められた課題に沿って発表します。審査により賞を授与します。							
【事業の実績】 6月18日（日）に総合文化センター文化ホールにおいて開催しました。瑞浪市青少年育成推進員10名、市内の3高等学校の生徒5名がボランティアのスタッフとして運営や進行を行い、約500名の入場者がありました。 出場した児童生徒には、自分の考えや思いを大勢の人に伝える力を付ける場、来場した市民には、子ども・若者の発表内容から学ぶ場となりました。ボランティアの高校生は、採点の補助や司会進行で活躍し、推進員や来場者から高い評価を得ました。 記録冊子と発表音声を録音したCDを関係者及び関係機関に配布しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 関係団体や高等学校との連携を軌道に乗せるため、「瑞浪市青少年育成推進員及び市内の3高等学校の生徒によるボランティアスタッフとしての運営協力」を継続して行いました。また、文化協会の会議を主張大会の日に設定し、主張大会の視聴への促しを積極的行いました。一般市民の来場を増やすため、昨年度好評で、かつ市内の児童生徒が多く所属している「MJCみずなみ児童合唱団」をアトラクション団体として招き、ちらしやメール等でPRしました。							
【事業の成果と課題】 青少年の意見発表の場として毎年開催していますが、来場者アンケートからは約9割の人から「来てよかった。」との回答を得ることができました。出場者の発表内容が素晴らしいものでしたし、それを支える高校生のボランティアも高い評価を得ました。 来場者数を増やすことと、一般の部の発表者の確保が課題です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	165,000			144,377		87.5	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	① I ① IV	連 番	21	事業名	生涯学習推進事業	評価	B
【事業の概要】 生涯学習懇談会並びに市民学習部会を開催し、生涯学習推進施策の調査・研究・検討などを行います。また、市民への生涯学習啓発を目的としたガイドブックを作成します。さらに、瑞浪市の自然・歴史・文化・産業等に関する様々なテーマにより「生涯学習講座」を市民学習部会と協力して開催します。							
【事業の実績】 生涯学習推進懇談会を7月20日（火）と2月16日（金）の2回開催しました。 市民による自主的な学習活動の一環である市民学習部会については、地域の学習活動を行い、「瑞浪の建造物」について現地学習を実施し、生涯学習推進懇談会に対し昨年度及び今年度の活動実績を報告しました。また、継続実施してきた生涯学習講座を中央公民館講座へと移行して、一層の充実を図りました。 一方で、各公民館及び民間施設等から情報を収集し、市内で開催される講座等の情報を取りまとめた「生涯学習ガイドブック」を昨年度に引き続き作成しました。広報4月15日号で全戸に配布しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 生涯学習推進懇談会の事業内容を見直し、公民館事業との統合に向けて生涯学習講座を公民館講座として実施しました。							
【事業の成果と課題】 生涯学習推進懇談会においては、今年度実施の生涯学習に係る各種事業について説明と報告をしました。また、懇談会における意見や提案を学習活動に生かすよう、生涯学習講座や各地区公民館講座、文化祭などの学習活動の実施内容について、市内6公民館で情報交換をしました。市民学習部会では、地域学習を継続して行ったほか、これまでの活動で軌道に乗った生涯学習講座を公民館講座へ移行して広く参加を促し市民の学習機会の増加へとつなげました。今後については、幅広い年齢層に対する事業や世代間交流事業の創出が課題です。市民学習部会を、公民館講座として位置づけることとしたため、生涯学習推進懇談会自体の役割と位置づけを見直す必要があります。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	864,000		551,115		63.8		

【評価委員からの意見と対応】 ○生涯学習ガイドブックについて、利用がないものなどは内容を見直したりタイトルを魅力的にしたりするなど、市民受けするように工夫をすると良いでしょう。 →内容やタイトルについて、魅力的なものになるよう検討します。
--

方針と重点 の重点番号	①Ⅱ ③Ⅱ	連 番	22	事業名	青少年育成推進事業	評価	A
【事業の概要】 青少年育成市民会議事業を中心として青少年健全育成活動を推進します。市民会議への交付金（モデル地区・団体への活動交付金を含む）、青少年育成推進員の報酬、及び市子ども会連合会事業と「青年の船研修」に対する補助金が主な経費です。							
【事業の実績】 青少年育成市民会議を2回（5月・2月）、青少年育成推進員会（構成員11名）を9回開催しました。また、高校生と語る会「フレッシュトーク in 瑞浪」、母親と語る会「いきいき子育てふれあいトーク」、「夏季特別街頭巡回指導」、中学生・高校生とともに駅前のガムはがしを行う「無ガム中大作戦」を実施しました。 2月の市民会議ではモデル地区（陶地区）とモデル団体2団体（瑞小野球スポーツ少年団、みずなみZERO）の活動発表、及び優良青少年育成者等の顕彰を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度に課題となった「市民会議の部会員の多くが充て職であるために継続的な取組みが困難」「青少年育成推進員の負担が大きい」ということについて、その現状を把握し事業や組織を見直して改善していく方向を青少年育成推進員会で確認しました。平成30年度から具体的な改善策を打ち出すことを決めました。							
【事業の成果と課題】 青少年健全育成のための街頭啓発運動を、夏は各地区の夏祭り会場、秋は各地区の文化祭会場で行ったことで、市民に直接働きかけることができました。 青少年育成市民会議も設立から50年を経過したことから、平成30年度は、本来の目的と現状に照らして、活動内容と組織を見直す予定です。また、推進員が市民会議と町民会議をつなぐ役割を十分発揮できるよう、会議の内容も「地域活動の交流」を重視する方向へ変えていく必要があります。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	2,339,000		2,216,597		94.8		

【評価委員からの意見と対応】 ○「無ガム中大作戦」についてはいろいろな団体へ参加を呼びかけるとよいと思います。 →本事業は駅前周辺の活動であるため、参加した学生ボランティアの9割以上が瑞中、瑞陵中の生徒（瑞浪地区土岐地区の生徒）でした。大人の参加については市民会議の場で本事業の日にちを伝えています。事業直前には広く市内にはチラシを配布しました。個別の案内状は市民会議の「環境改善部会」の会員にのみ出しています。全市的な活動かどうかという声も聞かれます。平成30年度の見直しの対象事業にもなっていますので、いただいたご意見を協議します。

方針と重点 の重点番号	①Ⅱ	連番	23	事業名	成人式開催経費	評価	A
【事業の概要】 本事業は、長年受け継がれてきた「成人の火の伝達」等を継承しながら、成人の自覚と将来への激励を目的とします。新成人から成る実行委員を中心に、地域の方々の協力による「手づくりの成人式」を開催します。							
【事業の実績】 市内全中学校の卒業生の新成人対象者で構成する成人式実行委員会を立ち上げ、8月から22回の会議を重ね実施しました。伝統となっている、実行委員が自ら企画・運営・進行する「手づくりの成人式」とし、テーマを「i～逢・相・愛 全てのiに感謝～」としました。実行委員の自発性と創意工夫を引き出すことを重視した結果、会を重ねるごとに意見の出し合いや活動が活発となり、実行委員にとって満足度の高い成人式となりました。来場者からも高い評価を得ました。 ○成人対象者：449名、出席者：348名、出席率：77.5% ○第18回成人式大賞2018で「成人式奨励賞」を受賞							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 伝統となっている「成人の火の伝達」を受け継ぎつつ、「郷土」、「自覚」、「感謝」を表現できるように実行委員全員でアイデアを出し合いました。							
【事業の成果と課題】 22名の実行委員が意欲的にアイデアを出し合い協力し合って、テーマ「i～逢・相・愛 全てのiに感謝～」に沿って式典づくりに取り組みました。その結果、「みずなみ教育プラン」が掲げる目標「夢に向かって果敢に挑戦する・生きがいをもっていきいきと暮らす・地域への愛着や誇りをもつ」を、自分たちの言葉と姿で具体的に伝える内容の式典となりました。今後も、新成人がどのように社会と関わっていききたいか、どんな生き方をしたいのかを自分たちで考え、改めて自覚し伝えていこうとする実行委員方式を行っていきます。 仕事や学業で忙しい中、半年間の継続的な取組みを行う実行委員会であるため、委員の選考に苦慮しています。経験者が、やりがいや楽しさを次の新成人に伝えていく、広報等で積極的にPRしていく等の策を講じる必要があります。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	1,932,000		1,745,882		90.4		

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	① I ～IV ③ I	連番	24	事業名	中央公民館講座等開催経費	評価	B
【事業の概要】 市民のライフスタイルや生活技術の向上、多様な学習意欲の向上に適した講座・教室等を開催します。また、高齢者学級としての寿大学の運営や、家庭教育の充実を目的とする母親学級等を開催します。							
【事業の実績】 講座・教室（7 講座：参加人数 延べ 249 人） ○つくろう、ふれよう陶芸体験 5 月 14 日 13 人 ○心を知る、茶席体験 5 月 14 日 5 人 ○集まれ！子ども和太鼓教室 5 月～8 月（全 11 回）15 人 ○きょうから始める生前整理①②③ 7 月～3 月 27 人、11 人、19 人 ○自分の健康状態を知って食の充実を図ろう 9 月 28 日 9 人 高齢者学級として中部寿大学（学生 162 人）の運営 毎月学習会等開催 ひまわり婦人学級 登録者数 21 人 常盤婦人学級 登録者数 24 人 家庭教育学級（三園母親学級） 参加者数 35 人 明日の親学級 5 月 14 日 4 人 7 月 23 日 2 人 9 月 3 日 2 人 3 月 4 日 2 人 登録自主グループ 25 団体、延べ会員数 268 人 ○自主ぐる～ぷ展 3 月 10 日～13 日 5 団体							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 地区公民館における各種講座の開催内容及び日程等について市内 6 公民館において講座に関する情報交換や相互周知を図り、情報共有に努めました。							
【事業の成果と課題】 気軽に参加しやすい短期講座を企画し、幅広い世代が多様な学習を行うことのできる場を提供しました。また、これまでの実績から、生涯学習講座を公民館講座として開催し、地区公民館へ情報提供を行いつつ、広く市民の参加を促しました。 一方で、地区公民館における各種講座の開催内容及び日程等について情報共有が必要と考え、市内 6 公民館において講座に関する情報交換や相互周知を図りました。 開催事業数が 2 講座減少したことから、今後は、講座開催数の増加を図るとともに、公民館相互における連携を図り、市民が受講しやすい体制の構築が課題です。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	443, 000		369, 661		83. 5		

【評価委員からの意見と対応】 ○地域交流センターときわなど、他の施設等で実施されている講座等との調整は行っていますか。 →連絡を取り合い、内容等が重複しないように調整しています。
--

方針と重点 の重点番号	①Ⅲ ③Ⅱ	連 番	25	事業名	中央公民館文化祭開催経費	評価	A
【事業の概要】 公民館講座等の参加者や登録自主グループの学習成果を発表する場として、また、市内の文化芸術団体の活性化を図るため、11月の土曜日、日曜日の2日間に第35回中央公民館文化祭を開催します。なお、市内各種団体の協力により、市民文化祭としても開催します。							
【事業の実績】 平成29年11月11日（土）と12日（日）に瑞浪・土岐・明世地区の活動推進員の協力を得て開催しました。 芸能関係27団体、作品展示関係18団体が参加しました。他に、市内幼稚園及び保育園の園児の作品の展示、瑞浪市子ども会連合会による「子ども広場」コーナー、市民図書館による「読み聞かせ」を行いました。また、食品バザーとして有志団体等が出店しました。さらに、瑞浪市消防団音楽分団がオープニングで演奏を行いました。 ○全体参加者数915人（前年度795人）、展示点数743点（前年度1,067点）、入場者数2,120人（前年度1,111人）。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度は、回覧用チラシの折り込み時期が遅れ、市民への周知期間が不足したため、今年度は早い時期から取り組みを開始し、周知期間を長くするよう取り組みました。							
【事業の成果と課題】 幼児から高齢者まで幅広い年代の方に参加していただくことで、年代間の文化交流を図ることができました。例年より早い時期に取り組みを開始し周知を行ったことで、参加者数と入場者数が大きく増加しました。 当日の運営について、現在はボランティアとして瑞浪・土岐・明世地区の各自治会から参加していただいておりますが、依頼方法等に関し見直しを図る必要があります。また、同時期に開催される市美術展との調整を図り、出品者に負担の少ない開催となるよう継続的に検討していく必要があります。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	267,000		207,053		77.6		

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	連 番	26	事業名	美術展開催事業	評価	B
【事業の概要】 公募展として、日本画、洋画、書、彫塑、デザイン・イラストレーション、陶芸、工芸、写真の8部門で毎年開催します。							
【事業の実績】 第64回瑞浪市美術展（一般の部）を、平成29年10月25日（水）～10月29日（日）の5日間で開催しました。また、昨年度に引き続き、21世紀を担う若者の豊かな才能を育てるため、高校生を対象とした「ききょう賞」を設けました。 出品数244点（うち賛助・無鑑査等51点）、入賞58点、展示作品数225点。 入場者数1,055人。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 市内外の高校の美術部や書道部等に対し、夏休み前の早い時期に出品の依頼をしました。併せて、高校生を対象とした「ききょう賞」についても周知を行いました。							
【事業の成果と課題】 出品数は244点で、前年度と同数でした。部門ごとでは、写真の部が93点で前年度より25点（36.76%）増加しましたが、他の部門は微減となりました。どの部門も創作活動者の絶対的人口が減少している中で、いかに市内在住者に出品してもらうかが課題です。 昨年度同様に、市内外の高校へ「ききょう賞」の周知をし、出品を依頼しましたが、出品が少なく各高校への周知及び依頼方法を再考する必要があります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（%）	
	1,719,000			1,494,798		87.0	

【評価委員からの意見と対応】 ○市外からの出品が多い印象だが、実際はどのようなようですか。 →市内からの出品は、47.13%です。懇談会でも課題となっているので、出品が増えるよう周知方法を考えていきます。 ○他市の美術展を見に行ったり、担当者同士で交流をするなどの工夫をしたらどうでしょうか。 →他市の美術展の開催状況など確認し参考とします。
--

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	連 番	27	事業名	文化芸術振興経費	評価	A
【事業の概要】 市民の文化芸術活動の振興並びに文化芸術団体の育成を支援します。 瑞浪市文化協会が実施する各種文化振興事業に対し補助金を交付します。							
【事業の実績】 瑞浪市文化協会が実施する、次の3事業に対し補助金を交付しました。 ・文化協会祭開催事業 補助金額 100,000 円（総事業費 302,352 円） 6月10日、11日開催 ・文化交流振興事業 補助金額 97,000 円（総事業費 217,009 円） 11月 高浜市文化協会祭参加 2月 高浜市文化協会との意見交換会 ・顕彰事業 補助金額 150,000 円（総事業費 315,574 円） 文化協会加盟：37 団体、497 人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 文化協会祭において、地区のお囃子保存会、瑞陵 Jr. ブラスバンドクラブ等の団体を招待したことによって、その関係者を含む多くの方に来場していただきました。							
【事業の成果と課題】 市文化協会は、市内に存する文化団体の包括団体として位置づけられており、文化協会祭の開催、愛知県高浜市との文化交流事業、会員の顕彰事業が主な事業となっています。 6月に開催した文化協会祭は、瑞陵 Jr. ブラスバンドクラブなどの招待団体を含む43団体が参加し、来場者は参加者を含め1,159人で前年より7.5%増となりましたが、一般観覧者が少ないことから、対策が必要です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	624,000			547,552		87.8	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	連 番	28	事業名	中央公民館自主事業	評価	A
----------------	----------	-----	----	-----	-----------	----	---

【事業の概要】

文化ホールでの公演事業を企画実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供します。平成29年度は、7月と9月に音楽公演、3月に落語公演を実施します。

また、プロ、アマチュア問わず、地元で活躍している方や所縁のある方などを広く市民に紹介する事業として、ホワイエふれあいコンサートを開催します。

【事業の実績】

○公演事業（3公演）

7月15日 志多ら全国ツアー「息吹～IBUKI～」

(572人)〔収容可能数794人〕

11月25日 谷本賢一郎コンサート～タニケンと一緒に歌おう～

(400人)〔収容可能数770人〕

3月11日 みずなみ寄席 三遊亭円楽 林家三平 二人会

(740人)〔収容可能数794人〕

○ホワイエふれあいコンサート（4公演）

4月30日 さわやかコンサート（コーラスジューパー&釜戸女声コーラス） 164人

7月2日 朗読発表会（市内8団体） 87人

12月23日 太一と葉のあったかいコンサート 286人

3月3日 懐かしのフォークソング&歌謡曲コンサート 90人

【前年度の評価を踏まえた取組み】

市民アンケートを実施することにより、市民ニーズを把握し、事業選定の参考としました。ホワイエふれあいコンサートは、公民館等で活動している団体の大きな発表の場であるとともに、市民からの期待も高いことから、継続的に開催することができました。

【事業の成果と課題】

自主事業、ホワイエふれあいコンサート時に行ったアンケートをもとに、幅広いジャンルの公演を行うように努めました。市民のニーズは多種多様でありその選定には苦慮しています。

平成29年度は、志多ら公演に合わせ、和太鼓体験のワークショップを開催し公演の鑑賞だけでなく、直接太鼓に触れることで芸術への関心を高めることができました。

ホワイエふれあいコンサートは、観客との距離が近く、温かな雰囲気コンサートとなり毎回好評を得ています。今後も市民活動の発表の場としてのニーズに応えていくよう努めます。

決算の状況	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	7,735,000	7,219,910	93.4

【評価委員からの意見と対応】

○集客が見込める事業を開催してほしいです。

→予算の範囲内で市民のニーズに沿ってバランスを考え決定します。また公演ごとに周知方法を工夫し集客率を高めるよう努めます。

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	連 番	29	事業名	中央公民館市民参加型事業	評価	A
【事業の概要】 市民が自ら参加し、芸術創造の場に触れることのできる事業を企画し開催します。平成29年度のニューイヤーコンサートは、これまでのノウハウと参加者や関係者とのつながり等を活かし、新たな市民参加型事業を企画、実施します。							
【事業の実績】 1月28日（日）に『みずなみニューイヤーコンサート2018 いのちのうた〜アリとキリギリスの物語』を開催しました。（722人）〔収容可能数784人〕 参加者は、公募キャスト17人（子役含）、公募合唱団52人、瑞浪市交響楽団48人、MJCみずなみ児童合唱団30人のほか、演出家・指導者など。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 出演者としてだけでなく、より多くの市民が参加することができる形として、上演作品を絵にしたぬり絵への参加を広く募集し展示をするという新しい方法を取り入れました。							
【事業の成果と課題】 今回は、誰もが知っている寓話「アリとキリギリス」を題材にしたので、観客にもストーリーやテーマが伝わりやすく好評でした。（アンケートより） 幼児園児から80代まで幅広い世代の市民がキャストや合唱団として参加し、また今年度はぬり絵を広く募集し多くの市民が様々な形で参加することができました。 出演者は、出演することだけでなく、スタッフとともにセット、衣装、小道具などの製作にも携わり舞台を創り上げました。 年々事業規模が大きくなり、予算、人材等に様々な課題が発生しているため、事業の見直しを行う必要性があります。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	4,013,000		3,955,972		98.6		

【評価委員からの意見と対応】 ○広く市民に定着し、期待も大きな事業であるため、事業の見直しについては慎重に行ってほしいです。 →承知しました。
--

◇スポーツ文化課（文化振興）の事業評価

方 針	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重 点	I まちぐるみで守る文化財とその活用 II 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 III 文化施設の充実 IV 後継者育成、文化芸術活動団体の支援

方針と重点 の重点番号	I	連 番	30	事業名	文化財調査保存事業	評価	A
【事業の概要】 市内に残る貴重な文化財の保護・啓発等のため調査を実施します。 平成 27 年度に引き続き、櫻堂薬師関連文化財として周辺・関連寺社の所蔵品調査、また 県・市町村史等文献における櫻堂薬師等の記載調査を実施します。							
【事業の実績】 文化財の指定申請書の提出があったことから、計画を変更して大湫神明・白山例祭の音楽 調査、古文書調査を実施しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は、その必要性を考慮し、計画を変更 して実施しました。							
【事業の成果と課題】 古文書調査の結果、祭礼で使用する山車が元治元年（1864）年に犬山から購入したもの である可能性が高まりました。また、音楽調査でも祭礼音楽が犬山の音楽と共通性を有して いることが確認され、祭礼の由来の一端が明らかとなりました。 今後は有識者の指導の下で山車の調査・図面化、幕類の調査、祭礼の流れの記録化等を行 います。また、櫻堂薬師関連文化財の調査についても継続し、調査対象や方針等を櫻堂薬師 調査指導懇談会において決定します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	131,000			79,303		60.6	

【評価委員からの意見と対応】 ○予算の執行率が低めなのは、どうしてですか。 →国の指定に向けた調査の打合せを有識者で行う中で、平成 29 年度には周辺調査を行わな いと判断し、旅費が不要となったためです。
--

方針と重点 の重点番号	I	連 番	31	事業名	埋蔵文化財発掘等調査事業	評価	A
【事業の概要】 遺跡範囲内での開発行為への対応を判断するため、試掘・確認調査等を実施します。また、過去の試掘調査で出土した遺物を整理し、調査報告書を刊行します（国庫補助事業、補助率2分の1）。							
【事業の実績】 試掘調査を4件（高屋遺跡／2回、兵庫田遺跡、一色遺跡）実施しました。 試掘調査等報告書（300部）を刊行しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は、その必要性を考慮し、計画を変更して実施しました。							
【事業の成果と課題】 試掘調査については、高屋遺跡で古代～中世の遺構・遺物が確認され、一部区域で本発掘調査が実施されることとなりました（調査は岐阜県文化財保護センターが実施）。また、他遺構でも、試掘調査の実施によるその後の円滑な対応が可能となりました。 試掘調査報告書の刊行により、過去の試掘調査の情報が蓄積されたことで、今後の開発事業等に円滑に対応できることが見込まれます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	2,355,000			2,223,828		94.5	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	I	連 番	32	事業名	保存資料等刊行事業	評価	A
【事業の概要】 市内各所より収集した役場記録等の古文書資料の整理・保存作業を実施します。 平成 30 年度事業完了に向け、収蔵庫の整備を実施します。							
【事業の実績】 約 1,000 点の古文書資料を整理し体系的に分類し台帳（目録）に記録しました。 収集した古文書は化石博物館別館に収蔵庫を設置して保存することとしました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 収集した古文書等（約 1,000 点）の分類作業を行い、劣化破損を防ぐために専用ラックに収容しました。 事業は平成 30 年度で完了の計画としていますが、今後も散発的に、資料の寄贈が発生する可能性が予想され、その際の受入方針など検討する必要があります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	1,500,000			1,447,452		96.5	

【評価委員からの意見と対応】 ○資料を有効活用してもらえようデータ化してHPに掲載するなどしてはどうか。 →30 年度発刊予定の目録データについてHPでの公開を検討します。 ○資料の閲覧希望者はありますか。 →学生より 2 件の閲覧希望があり対応しました。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	33	事業名	こいのぼり祭事業	評価	A
【事業の概要】 市民公園内文化施設のPR・周知を図るため、市民公園において家族で楽しむことのできる文化的なイベントを開催します。							
【事業の実績】 4月22日～5月10日にかけて、公園内にこいのぼり約160匹を掲揚しました。 5月3日～5月5日に「瑞浪市民公園こいのぼり祭2017」を開催し、約7,000人の来場者があり、また文化施設を無料開放し、延べ14,000人を超える入館者がありました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 昨年度の評価委員からいただいた「こいのぼり祭が主体ではなく、文化施設を楽しむ機会づくり」を十分に反映し、ステージショーの一部を文化的な内容に変更して実施し、また、陶磁資料館に加えて化石博物館でも講座を開催し、文化施設を楽しむ機会づくりに努めました。							
【事業の成果と課題】 オープニングイベントでは、瑞陵 Jr. ブラスバンドクラブの演奏、明世地区まちづくり推進協議会・みどり幼稚園による「願いを込めた風船飛ばし」を実施し、ステージショーでも市内団体のバサラ演舞を行うなど、地域との連携に努めました。また、文化的・教育的なイベントとなるよう、名古屋おもてなし武将隊が地域の歴史等を解説するショーを開催しました。併せて、化石博物館等では講座を開催して、博物館のイベントとの連携を図りました。 人気のキャラクターショーからの変更により来場者の減少が懸念されましたが、来場者及び入場者も前年度並みであり、駐車場不足など大きな混乱もありませんでした。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	2,395,000			2,373,537		99.1	

【評価委員からの意見と対応】 ○市民は毎年楽しみにしているので、是非とも続けてほしいです。

方針と重点 の重点番号	I	連 番	34	事業名	文化財維持管理事業	評価	A
----------------	---	-----	----	-----	-----------	----	---

【事業の概要】

市指定民俗文化財（無形）の後継者育成に対する補助を行うとともに、ヒトツバタゴ自生地の看板修繕、大湫町高札場の屋根修繕、及び櫻堂薬師の涅槃図修復事業に対する補助を行います。

【事業の実績】

ヒトツバタゴ自生地（国指定天然記念物）の看板修繕を実施しました。

大湫町高札場の屋根改修工事を実施しました。

民俗文化財（無形）の伝承事業3件（美濃歌舞伎、鶴城笹踊り、半原操り人形浄瑠璃）に補助金（各5万円）を交付しました。

「上平観音堂の金銅装束」を保管する上平集会所への防犯カメラ設置（益見第4集会）、
「櫻堂薬師の涅槃図」修復（桜堂区）に対する補助（対象経費の2分の1）を行いました。

【前年度の評価を踏まえた取組み】

特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。

【事業の成果と課題】

民俗文化財（無形）の技術を保持する後継者を育成し、後世に伝承していくために今後も後継者育成事業への補助を継続します。

市民共有の財産である市指定文化財を良好な状態で後世に伝えるため、また防災・減災等のために、今後も修理事業等への補助を継続します。

決算の状況	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	1,621,000	1,604,840	99.0

【評価委員からの意見と対応】

○高札場改修工事は、大湫町からの要望によるものですか。

→町より情報提供があり実施に至りました。

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	連番	35	事業名	(化石博物館) 定期研究報告発行事業	評価	A
【事業の概要】 瑞浪市の地質や化石等を中心とした研究論文を掲載した研究報告を発行します。 第44号では国内外の化石に関する研究成果論文と、瑞浪北中学校敷地造成工事現場から産出された各種化石についてまとめた特集論文を掲載し、研究成果を広く公開します。 研究報告は国内外の研究・教育機関（約300機関）に交換雑誌として送り、また、瑞浪北中学校敷地造成工事現場から産出された各種化石の調査報告は、市内小中学校及び関係機関に配布します。							
【事業の実績】 瑞浪北中学校敷地造成工事現場産出化石に関する研究論文9編が含まれた『瑞浪市化石博物館研究報告 第44号』を発刊（320部）しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 目標のとおり、瑞浪北中学校敷地造成工事現場の調査研究報告を特別号として盛り込み、市内小中学校等に配布しました。特別号はクジラやエゾイガイ化石の研究をはじめとする論文9編、約80ページとなり充実したものとなりました。 また、各研究論文やそれらの概要版をホームページ上で公開し、研究成果の積極的公開に努めています。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	917,000			902,516		98.5	

【評価委員からの意見と対応】 ○毎年の発行で大変だと思います。 →開館以来44年間、継続的に発行しているので今後も続けて行きます。 ○瑞浪北中学校敷地造成工事現場からの化石の出土は、児童生徒にとって貴重な財産です。 専門冊子は難しいので、子供向けの簡単な説明会などがあるとよいと思います。 →小学校には出前講座の要望を聞きましたが、希望のあった瑞浪中学校はインフルエンザの流行により中止となったため、実績としては明世小学校のみとなりました。
--

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	36	事業名	(化石博物館) 定期講座開催経費	評価	A
----------------	---	-----	----	-----	---------------------	----	---

【事業の概要】

自然科学への興味・関心を高めるため、化石や地質等をテーマとした講座を開催します。

夏の化石教室（定員 25 人、4 日）、コハクの原石を磨こう（定員 25 人、2 日）、恐竜の復元模型を作ろう（入門編）（定員 20 人、1 日）、恐竜の復元模型を作ろう（応用編）（定員 15 人、1 日）、小さな化石モンスターをさがせ（定員 20 人、1 日）、みずなみ化石教室上級コース（10 名、2 日）を開催します。

ボランティア主導のみずなみ化石教室（半日コース、定員 30 人、11 日：一日コース、定員 30 人、7 日）を開催します。

【事業の実績】

名 称	期 日	参加者数
みずなみ化石教室（半日）	4 月～3 月（毎月 1 回[8 月を除く]、延べ 11 回）	302
みずなみ化石教室（一日）	4 月～11 月（4～11 月に月 1 回[8 月を除く]、延べ 7 回開催）	197
みずなみ化石教室（上級）	5 月 27 日、10 月 28 日	12
恐竜の模型を作ろう	8 月 6 日	38
夏の化石教室～化石マイスター養成教室～	7 月 27 日・28 日、8 月 11 日・20 日	94
コハクの原石を磨こう	11 月 26 日、12 月 10 日	32
小さな化石モンスターを探せ	11 月 19 日	14
	計	689

※平成 28 年度：8 企画／821 人

【前年度の評価を踏まえた取組み】

特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。

【事業の成果と課題】

みずなみ化石教室、夏の化石教室等の講座を延べ 28 回開催しました。各講座の申し込みは、これまでの先着順から抽選制に改めましたが、特に大きな問題はなく、今後も継続していく予定です。

また、一昨年作成した出前講座資料の利用依頼はありませんでしたが、明世小学校との連携講座（地層見学、博物館見学）を 2 回開催しました。

決算の状況	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	1,151,000	1,032,293	89.7

【評価委員からの意見と対応】

○参加人数は、館として満足していますか。

→講座等参加者に均一のサービスを提供するために適正な人数だったと考えています。これ以上の人数を受け入れると逆にサービスの低下が予想されるので現在の方針を継続します。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	37	事業名	化石博物館定期展示会開催事業	評価	A
【事業の概要】 自然科学への興味・関心を高めるため、化石や地質等をテーマとした展示会を開催します。 ・特別展示「(仮称) 瑞浪北中学校工事現場から見つかった化石その2」(5月2日～28日) ・企画展「不思議な! 深海生物化石」(7月19日～10月1日) ・企画展「みずなみ化石ニュース2017」(11月3日～12月3日)							
【事業の実績】 ① 「海のない岐阜県でクジラ化石の発見!!」 4月29日～5月28日(入館者:5,280人) ② 「化石になったキミヨ～な深海の生物たち」 7月1日～9月24日(入館者:7,668人) ③ 「新発見! みずなみの化石」 3月10日～5月13日 (3月31日までの入館者:1,381人) ※入館者合計:14,329人【平成28年度:3企画/14,273人】							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 昨年度の点検評価時に意見をいただいたリーフレット等のホームページ上での公開については、バックナンバーも含めて公開し、興味のある方が自由に閲覧できるように改善しました。							
【事業の成果と課題】 市内で発見された化石をテーマにした速報的な展示会を行い、郷土の自然史や地質に関連性を有する内容となるように努めました。また、開催に合わせて化石発見の記者発表を行い、広報にも注力しました。							
決算の状況	予算額(円)			決算額(円)		執行率(%)	
	740,000			734,300		99.3	

【評価委員からの意見と対応】 ○期間中入館者は平成28年度と同じようですが、毎年テーマを考えるのは大変だと思います。また、PRの手法はどのように行っているのですか。 →その時々市民に興味を持っていただけるテーマを企画しています。特に、平成29年度は瑞浪北中学校敷地造成工事現場から産出した化石にスポットを当てて展示しました。ポスター、チラシは全国に送付し、HPにもアップしています。 ○入館者がどこから来たのか、調査していますか。 →アンケートを実施しています。東京や大阪方面等、遠方からも来館者があります。瑞浪北中学校敷地造成工事現場から産出したクジラの化石については、展示会終了後も見たいと来館される市民がいました。そのため、次年度以降は、常設展示室で常時展示する予定です。
--

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	連 番	38	事業名	(化石博物館) 化石資料調査収集事業	評価	A
【事業の概要】 日本各地の化石資料等を収集して収蔵品の充実に努めるとともに、展示や研究等において活用を図ります。 北海道羽幌町の中生代～新生代カニ・貝化石と群馬県下仁田町のイガイ類化石の調査・収集を実施します。							
【事業の実績】 7月18日～21日北海道羽幌町・初山別村：中生代のアンモナイト・カニ化石、新生代の貝・カニ化石等計20点を採集。 2月20日群馬県下仁田町：新生代のチカノヴィッチイガイの産状調査、化石3点を採集。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 羽幌町の調査では、イチョウガニやエビ類などの十脚類化石を採集することができました。この地域から初めて見つかった種類もあり、学術的価値が高いため、今後論文で発表する予定です。 群馬県下仁田町の調査では、チカノヴィッチイガイを採集し、その保存を瑞浪北中学校敷地造成工事現場産出のエゾイガイと比較しました。 採集した貝類化石については、瑞浪産の貝類化石との比較標本として企画展で活用を図ります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	262,000			209,659		80.1	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	39	事業名	(市之瀬廣太記念美術館) 定期展示会開催事業	評価	A
【事業の概要】 郷土にゆかりのある芸術家を紹介する企画展を開催し、瑞浪の地で育まれた美術・芸術への関心を高めます。 大湫町出身の彫刻家、天野裕夫氏の展覧会（企画展）を実施します。							
【事業の実績】 「天野裕夫 彫刻の世界」 9月8日～11月12日（入館者：1,003人） 【平成28年度：1企画／1,156人】							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 国際陶磁器フェスティバルの協賛事業として、期間中来館者1,000人を目標として開催した結果、目標を若干上回ることができましたが、昨年度に比べ期間中入館者が減少しました。開催期間が例年の2倍程度としたため、逆に集客に影響があったと思われます。 また、期間中の10月14日に「対談 天野裕夫のこれまでとこれから」を開催し、約70人の参加者がありました。しかし、立ち見の来場者も発生したことから、30～40名程度に限定した方が対談会としての効果が上がったと考えます。 今後、企画展を開催する上で上記2点を課題とし、解決方法を検討したうえで事業を実施したいと考えます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	590,000			588,051		99.7	

【評価委員からの意見と対応】 ○天野氏のトークショーを参観しました。作品はまだ館内にありますか。天野作品を常時展示できる施設があると良いのではないのでしょうか。 →天野氏から33点の作品の寄託を受けて、現在は館内で常時展示しています。市之瀬作品と天野作品は作品の性格が異なるため、混在して展示することは控えるべきと考えます。天野作品の展示や活用方法は、今後の検討課題です。 ○展示会を観覧しました。若い男性らが喜んで観覧していたのが印象的でした。新たな企画を期待しています。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	40	事業名	(市之瀬廣太記念美術館) 彫刻講座等開催経費	評価	A
【事業の概要】 芸術・美術に触れることのできる講座を開催し、特に館の特色である彫刻や工芸に対する関心を高めます。 土人形づくり講座を開催します。							
【事業の実績】 土人形づくり 7月23日、8月27日、9月3日（参加者：20人） 【平成28年度：4人】							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 昨年度の点検評価委員会において、素材の見直し等、講座の内容について検討を行うよう助言をいただきました。それを受けて、美術館協議会における協議の結果、「現在失われつつある郷土の工芸品である土人形の伝統的な製作工程を経て作品を作るべき」との意見から、従来どおりの内容で実施することとしました。							
【事業の成果と課題】 参加者数は定員を上回り、昨年度からも大幅に増加しました。社会教育課で各戸配布した「生涯学習ガイドブック」からの申し込みが半数を占めており、宣伝媒体として効果があったものと考えます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	111,000			102,200		92.1	

【評価委員からの意見と対応】 ○「生涯学習ガイドブック」に講座を掲載したことで参加者が増加したという認識ですか。 →「生涯学習ガイドブック」を見て申し込まれる方が半数を占めています。また、同書は講座ごとの問い合わせ先も簡単にわかるため、便利であるとの声も聞いています。 ○ぜひ、そういう声を社会教育課にも伝えてほしい。							
---	--	--	--	--	--	--	--

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	41	事業名	(陶磁資料館) 作陶講座開催経費	評価	A
----------------	---	-----	----	-----	---------------------	----	---

【事業の概要】

伝統産業である焼き物や陶芸等に触れる機会を提供し、また関心を高めるために体験教室を開催します。

外部講師による作陶体験教室（5回）、内部講師による絵付け体験教室等（4回）、呈茶会（1回）、勾玉づくり（2回）のほか、事前予約制の絵付け体験教室を開催します。

【事業の実績】

五月人形づくり 4月2日（参加者：3人）

陶の匠茶会 4月9日（参加者：34人）

絵付け体験（マグカップ・プチオカリナ） 5月3日～5日（参加者：101人）

やきもの風鈴絵付け 6月25日（参加者：18人）

勾玉づくり 8月5日（参加者：4人）

マグカップ・プチオカリナ絵付け 8月12日・13日（参加者：31人）

ペアのマグカップづくり 9月17日（参加者：3人）

来年の干支づくり「戌」 10月15日（参加者：15人）

ひな人形づくり 1月21日（参加者：13人）

表札づくり 3月25日（参加者：5人）

申し込みによる絵付け体験 7月9日、10月21日（延べ2回）（参加者：32人）

参加者計：259人 【28年度：10企画／339人】

【前年度の評価を踏まえた取組み】

特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。

【事業の成果と課題】

参加者数は平成28年度に比べて減少しました。特に作陶体験において人数の減少がみられることから、今後は内容を精査するとともに、開催時間の変更等、より魅力的で参加しやすい教室となるよう務めます。

特に近年は作陶よりも気軽に参加できる絵付け体験が好評なので、今後も継続して開催するとともに、市の広報やホームページ等では早い時期の情報提供に努めます。

決算の状況	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	431,000	394,429	91.6

【評価委員からの意見と対応】

○市之瀬美術館とは別途講座を実施しているのか。

→市之瀬美術館は夏季、陶磁資料館は通年実施ということであり別途開催しています。

○受講者が少ない場合も開講するのか。

→当日キャンセルにより、参加者が少なくなる場合もありますが、外部講師を依頼していることから中止は困難です。最近では作陶より簡単な絵付けが人気のため、講座内容を精査し実施内容を検討します

○参加者の住所はどのようなか。

→広報、HPで告知するため、約80％が市民で、市外の方も東濃圏内からの市外参加がほとんどです。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	42	事業名	(陶磁資料館) 定期展示会開催事業	評価	A
----------------	---	-----	----	-----	----------------------	----	---

【事業の概要】

伝統産業である焼き物や陶芸等に触れる機会を提供して興味・関心を高めるため、また収蔵資料の活用、研究成果公開等のために展覧会を開催します。

企画展 4 回、特別展 1 回を開催します。

【事業の実績】

(○：企画展、◎：特別展)

○瑞浪陶芸協会作品展 今をつくる 4 月 9 日～5 月 7 日 (入館者：3,075 人)

○美濃の近代絵付け用具とやきもの 5 月 27 日～8 月 27 日 (入館者：1,088 人)

◎人間国宝 加藤孝造 陶・画の世界 9 月 9 日～11 月 12 日 (入館者：3,237 人)

○伊藤文生のデザイン 12 月 23 日～2 月 12 日 (入館者：505 人)

○友の会作品展 2 月 18 日～3 月 18 日 (入館者：256 人)

入館者計：8,161 人【平成 28 年度：5 企画／6,405 人】

特別展図録『人間国宝 加藤孝造 陶・画の世界』(300 冊)を刊行しました。

【前年度の評価を踏まえた取組み】

特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。

【事業の成果と課題】

展覧会開催中の入館者数は平成 28 年度から大幅に増加しました。特に国際陶磁器フェスティバルの協賛事業として開催した「人間国宝 加藤孝造 陶・画の世界」は、他の施設との共通入館券が販売されたことから、多数の入館者を迎えることができました。

来年度は、協賛事業とする展示会はありませんが、展示会の内容を検討することはもちろん、他の施設との連携にも努めます。

決算の状況	予算額 (円)	決算額 (円)	執行率 (%)
	1,592,000	1,488,245	93.5

【評価委員からの意見と対応】

○観覧者が増えていることは好ましい。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	43	事業名	(陶磁資料館) 定期刊行物発行経費	評価	A
【事業の概要】 陶磁器・窯業史等に係る調査・研究成果等を掲載した研究紀要（隔年）ならびに瑞浪市の歴史・民俗・文化財等を紹介する歴史資料集（隔年）を刊行します。また、資料館事業報告・公開のため年報（隔年）を発行します。 研究紀要第 17 号（300 部）および年報第 35 号（200 部）を刊行します。							
【事業の実績】 瑞浪市陶磁資料館研究紀要 第 17 号（100 部/2 分冊）を刊行しました。 瑞浪市陶磁資料館年報 第 35 号の刊行（100 部）を刊行しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 研究紀要は、平成 28 年に国登録有形民俗文化財に登録された収蔵品を目録編と、図版編に分けて掲載し、その公開・周知に努めました。冊子は国内の博物館や図書館等に送付しました。 年報は、印刷及び送付に要する経費削減のために冊数を見直し、100 冊の印刷としました。 今後も研究紀要・歴史資料集の刊行は継続しますが、近年は投稿者が減少傾向にあることから他の学芸員や研究者等に投稿を働きかけていきます。また、一般の方にも掲載内容が一目で分かるように、掲載論文の要約掲載及びホームページ上での論文公開を検討します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	654, 000			643, 400		98. 4	

【評価委員からの意見と対応】 ○紀要、年報ともに減冊したとのことですが、問題はありませんでしたか。 →予算の都合上、主として送付、販売する冊数を減らし調整しました。収蔵品の情報を公開することの意義が大きいことから問題は無いと考えます。 ○紀要の印刷費は 1 冊あたりいくらですか。 →紀要 2 分冊で 5, 000 円程度です。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	44	事業名	(陶磁資料館) 展示資料等購入整理事業	評価	A
【事業の概要】 収蔵資料等の効率的な管理、公開のために台帳のデータベース化を図り、市ホームページを通じて収蔵品を紹介します。また、収蔵資料の充実を図るために資料の収集に努め、整理を実施するとともに、展示や研究等の参考図書を購入します。また、劣化の著しい資料を保存するために適切な措置を施します。 本年度は、市内の古墳から出土した金属製品（2点）の保存処理を実施するとともに参考図書・展示資料を購入します。							
【事業の実績】 市内の古墳から出土した鉄刀1点、鉄鏃5点の保存処理を行いました。 参考図書26冊、展示資料3点（加藤孝造絵画1点、大湫宿町並絵図1点、大湫宿本陣絵図1点）を購入したほか、データベースの更新を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 金属製品の保存処理については、例年よりも大型の刀を対象としたこと等から一部内容を変更して実施しました。保存処理の完了した遺物や購入資料については、今後、展覧会において展示、他施設への貸借を行うなど、その公開・活用を図ります。 また、国登録有形民俗文化財に登録された陶磁器生産用具等のデータベース化・公開については、研究紀要の刊行により一定の目標が達成されたこと、また多数の寄贈資料を受け入れたこと等から、その必要性や時期について再度検討を加えます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	998,000			961,717		96.4	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

◇スポーツ文化課（スポーツ振興）の事業評価

方 針	誰もが気軽にスポーツを親しめる生涯スポーツの推進
重 点	I スポーツの場の充実 II スポーツの機会の充実と魅力の発信 III スポーツ推進委員の活用 IV 体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携

方針と重点 の重点番号	I	連 番	45	事業名	各種体育大会開催経費 (激励金交付事業)	評価	A
【事業の概要】 国体等の全国大会に出場する選手に対する激励金の交付並びに市民体育大会開催経費、東濃総合体育大会・岐阜県民スポーツ大会の参加交付金です。							
【事業の実績】 インターハイ、国体等に参加する選手その他、様々な世界大会、全国大会に出場する選手に激励金を交付しました。(平成 30 年 3 月 31 日現在、34 大会(高校選抜大会は 1 激励会 1 大会として計上) 147 人 14 団体 市民体育大会、東濃総合体育大会、岐阜県民スポーツ大会の実施や参加のための交付金を交付しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度評価時に、評価事案として諮るよう指示をいただきました。							
【事業の成果と課題】 激励金の交付については、様々な大会で、全国大会への出場が多くあり、当初予算 750 千円(各種体育大会開催経費当初予算は 3,947 千円)に対し、最終的には 955 千円の支出となりました。 今後とも、わずかな金額ですが、出場する選手等の励みになっているため、継続していきます。							
決算の状況	予算額(円)			決算額(円)		執行率(%)	
	4,112,000			4,098,652		99.7	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	46	事業名	スポーツ教室等開催経費	評価	A
【事業の概要】 市民が気軽に参加できるスポーツ環境づくりを図り、健康長寿につながる生涯スポーツの普及に努めるため、各種スポーツ教室を開催します。 バドミントン教室、フットサル教室、スナッグゴルフ教室を開催します。							
【事業の実績】 バドミントン教室（1 教室、参加 25 人：9 月 21 日～10 月 26 日（木曜日：6 回開催）） フットサル教室（1 教室、参加 4 人：12 月 1 日～12 月 22 日（金曜日：4 回開催）） スナッグゴルフ体験教室（11 月 23 日健康まつり時：雨天中止） ワンバウンドふらばーるバレーボール体験会（1 教室、参加 32 人：9 月 24 日：1 回開催）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度の特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 バドミントン教室については、人数的に多くの方に毎年参加していただいております、また、その後も継続している方も見受けられ、目的を十分に果たしていると思います。 スナッグゴルフ教室は、例年健康まつりの一事業として実施していました。今年度は、スナッグゴルフ教室の参加人数を増やすための宣伝方法について検討し、広報で案内を出したところ、雨で中止とはなりましたが事前の問い合わせを多くいただきました。 今後も生涯スポーツの振興を図るため、競技種目としてのスポーツばかりでなくレクリエーションスポーツにも目を向けていきます。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	156,000		105,260		67.5		

【評価委員からの意見と対応】 ○参加者が少ない教室もある。どの課でもPRに努めているが、本当に力を入れているか。来年度は「こういう工夫、努力をした」という報告を聞きたい。 →子供対象の教室では、学校経由でチラシを配布しました。印刷経費がないため、PRの主たる手法は広報とHPです。 ○生涯学習ガイドブックに参加費を載せると、受講を検討しやすい。 →掲載の時点では、まだ詳細が決まっていないため、実施の案内だけとなりますが、詳細が決まり次第、広報とHPで告知しています。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	47	事業名	トップアスリート交流事業	評価	A
【事業の概要】 子どもたちとトップアスリートとの交流を図ることで、子どもたちに夢を与える事業として、スポーツ教室・講演等の交流事業を年1回開催します。							
【事業の実績】 ソフトボール(宇津木妙子氏 ※アシスタントとして北京オリンピック金メダル獲得メンバーの三科真澄氏、染谷美佳氏も参加) 2月3日(土)							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画どおり終了しました。							
【事業の成果と課題】 市内を中心に小中学校ソフトボールクラブ単位での申し込みがあり、一部は受付を断らざるを得ませんでした。最終的に116名の参加があり、前半は、宇津木氏の経験を交えた、努力は裏切らないという講話、後半は市民野球場において、宇津木氏、三科氏、染谷氏より守備、バッティング、ピッチングについて、実技指導を受け、非常に内容の濃い交流会となりました。 課題となっている次年度以降の実施競技については、平成30年度は卓球、平成31年度は陸上競技を実施する予定です。							
決算の状況	予算額(円)			決算額(円)		執行率(%)	
	885,000			834,422		94.3	

【評価委員からの意見と対応】 ○瑞浪市はソフトテニスも強いようだが、いかがか。実技はせず、講話を聴くだけでもよい か。 →強い子を強化することが目的ではなく、子どもたちに夢を与えたり、意欲づけを目的として います。なお、実技指導は子どもを対象とし、講話については幅広い層を対象として おりますので、ぜひご参加ください。 ○これまでも一流の講師を招いており、よい事業だと思います。
--

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	連 番	48	事業名	市民競技場整備事業	評価	A
【事業の概要】 平成 30 年度の市民競技場改修に向けた、整備設計業務を行います。							
【事業の実績】 市民競技場整備設計委託において競技場の改修実施設計を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 29 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 平成 30 年度の改修工事に向けた、実施設計業務を行いました。その一環として行った調査の結果、トイレ及び倉庫の外壁塗装にアスベストが含まれていることが分かり、撤去について対応を要することとなりました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	6, 654, 000			6, 568, 560		98. 8	
【評価委員からの意見と対応】 ○利用頻度はどの程度ですか。 →ほぼ毎日、中京学院大学附属中京高等学校の陸上部の利用があります。							

6 教育委員会点検評価委員会のまとめ

平成 29 年度教育委員会主要 48 事業に対する点検評価について、その客観性や公平性を確保し、今後の取組に向けた活用を図るため、学識経験者を含む 6 名の点検評価委員が、3 回にわたって点検評価委員会に参加しました。委員会では、教育委員会の 6 つの課等からそれぞれの方針と重点と自己評価について説明を受けました。

事業評価シートと担当課の説明により専門外の事業や初めて知った事業を評価することには難しさも感じましたが、委員はそれぞれの知見を活かした質疑や意見発表を活発に行い、この点検評価をより公正で確かなものにすることができたと考えます。

平成 29 年度に実施された事務事業に関しては、前年度に実施した点検評価を土台として、適切に計画、実施されており、全体的に一定の成果が得られたものと評価しています。

担当課からは、前年度の点検評価で出された意見に対する改善点や検討の結果の報告があり、教育委員会が点検評価に真摯に向き合い、業務の改善に努めていることがわかりました。また、担当課による自己点検や点検評価委員との双方向的なやり取りを通して、課題や今後の方向性が明らかになったものもありました。今回「A」評価となった事業についても、常に点検評価を繰り返し、事業の充実に努めることが重要です。

市民がいきいきと学び、健康で心豊かに暮らしていくために、この点検評価の結果を今後の教育委員会の取組に活用していただくことを期待します。

【瑞浪市教育委員会点検評価委員】 任期：平成 30 年 4 月 26 日から 32 年 4 月 25 日

役職名	氏名（敬称略）	参考
委員長	あつみ まさのり 厚見 正紀	元瑞浪市教育振興基本計画策定委員会委員長
委 員	みずの まさよ 水野 昌代	元瑞浪市教育委員
委 員	あんどう たかひろ 安藤 隆宏	瑞浪市社会教育委員
委 員	うかい けんじ 鵜飼 健二	瑞陵中学校評議員
委 員	くみ こ ヒッチングス 久美子	瑞浪市 P T A 連合会母親副委員長
委 員	さん こ のりかず 三戸 憲和	瑞浪市文化財審議会委員

【点検評価委員会開催状況】

回	開 催 日	会 場
第 1 回	平成 30 年 5 月 25 日（金）	瑞浪市役所 4 階会議室
第 2 回	平成 30 年 5 月 30 日（水）	瑞浪市役所 4 階会議室
第 3 回	平成 30 年 6 月 19 日（火）	瑞浪市保健センター 3 階大会議室